

3. 結婚について

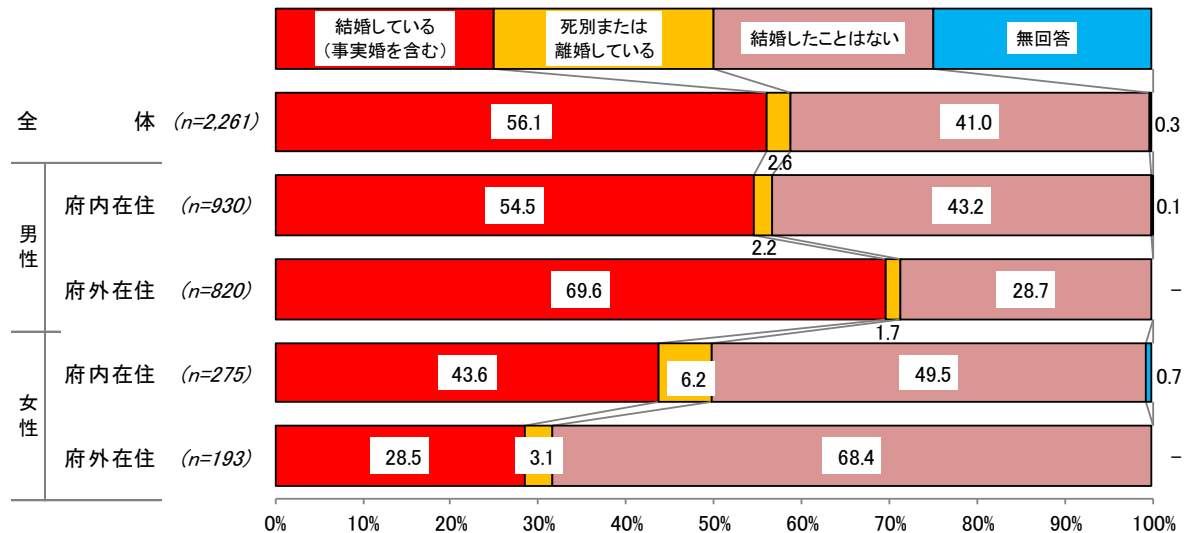
(1) 婚姻状況

【全員の方にお聞きします。】

問 2 5 あなたは、現在結婚していますか。あてはまるものを1つお選びください。

なお、このアンケートの中では、「結婚」には「事実婚」を含みます。

図表 3-1-1



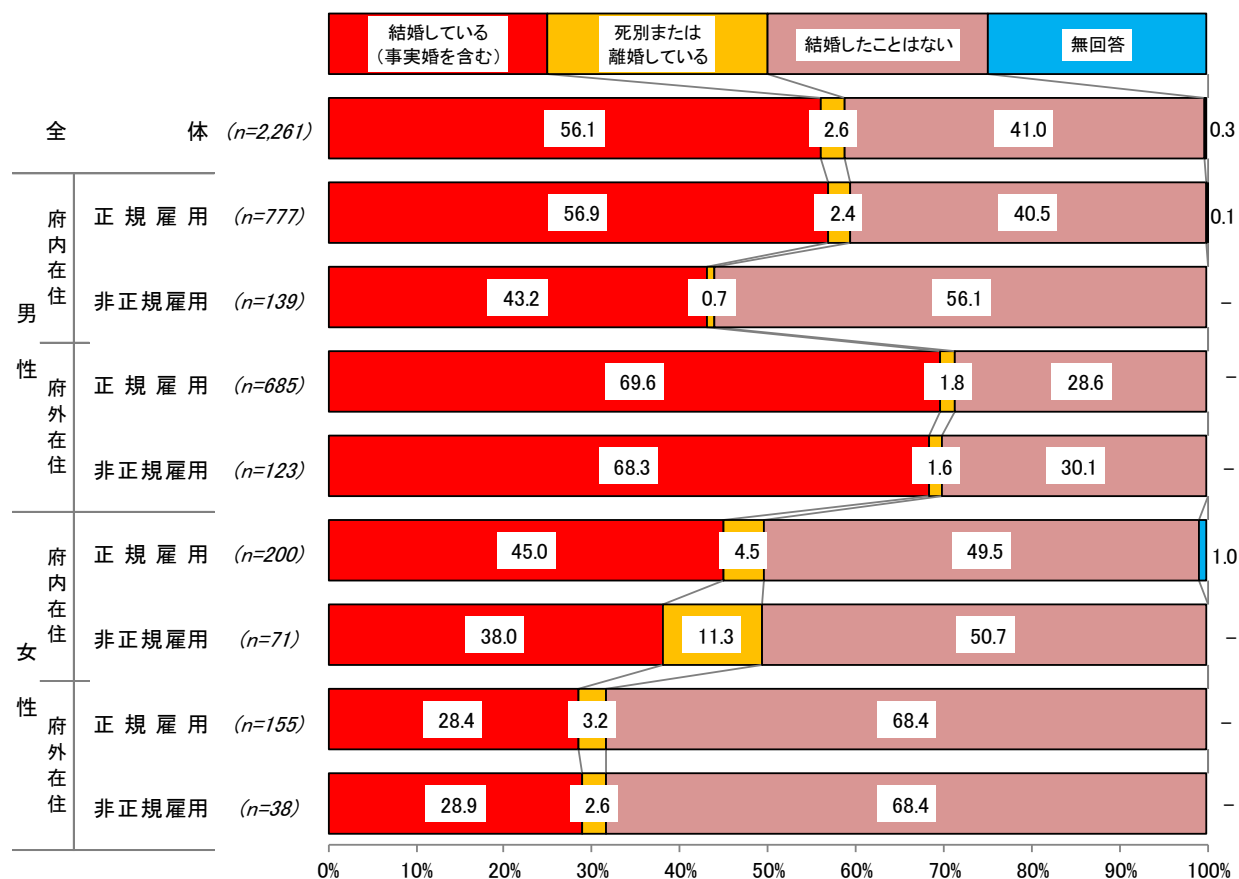
現在の婚姻状況を聞いたところ（図表 3-1-1）、「結婚している（事実婚を含む）」が 56.1%、「結婚したことはない」が 41.0%、「結婚したが今は死別または離婚している」が 2.6%である。

性・居住地別にみると（図表 3-1-1）、男性で「結婚している」（府内 54.5%、府外 69.6%）という者は、府外在住者では 7 割を占め、府内在住者を 15 ポイント上回っている。

一方、女性では、府内在住者は、「結婚している」（43.6%）もしくは「結婚したが今は死別または離婚している」（6.2%）と回答した『既婚者』（49.8%）と「結婚したことはない」（「未婚者」49.5%）が、ほぼ半数ずつである。これに対して、府外在住の女性では「結婚している」（28.5%）という者が約 3 割で、7 割近くが「結婚したことはない」（68.4%）と回答している。

性・居住地・就労状況別にみると(図表 3-1-2)、府内在住者では、男女とも非正規雇用者(男性 43.2%、女性 38.0%)よりも正規雇用者(同 56.9%、45.0%)の方が「結婚している」者が多い。府外在住者では、就労状況による大きな差はみられない。

図表 3-1-2 婚姻状況(性・居住地・就労状況別)

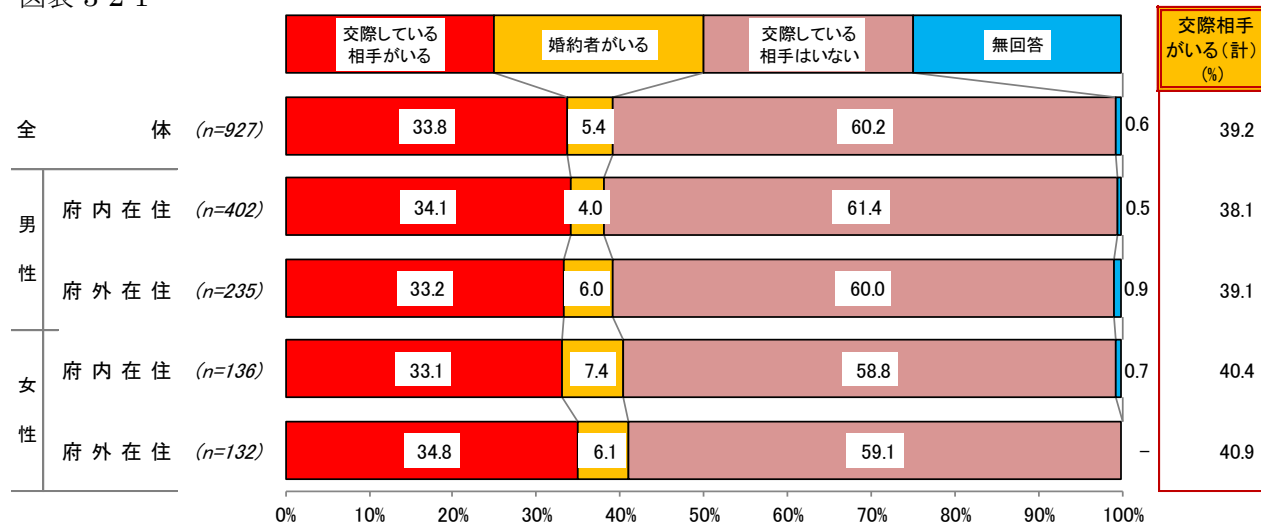


(2) 交際相手の有無

【問25で「3 結婚したことはない」と答えた方にお聞きします。】

問26 あなたには、現在、交際している相手がありますか。あてはまるものを1つお選びください。

図表 3-2-1

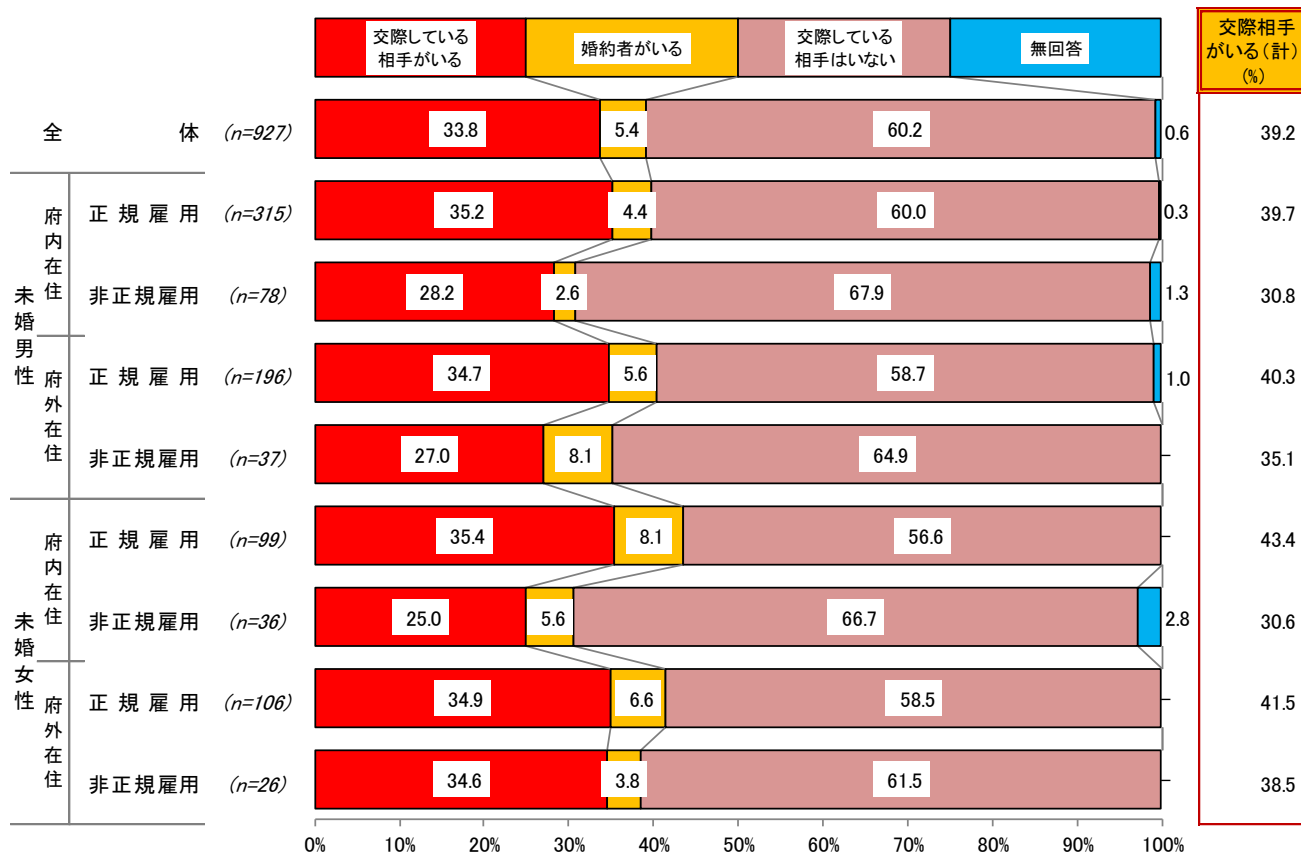


未婚者（927人）に、現在交際相手がいるかどうかを聞いたところ（図表 3-2-1）、「交際している相手がいる」者は33.8%で、「婚約者がいる」（5.4%）者を合わせると、約4割は『交際相手がいる』と回答している。

性・居住地別にみても、大きな差はみられない（図表 3-2-1）。

性・居住地・就労状況別にみると（図表 3-2-2）、府内在住の男性では、「交際している相手がいる」という者は、非正規雇用者（28.2%）より正規雇用者（35.2%）に多くなっている。一方、女性の正規雇用者（府内35.4%、府外34.9%）では、居住地による差はみられない。

図表 3-2-2 交際相手の有無（性・居住地・就労状況別）

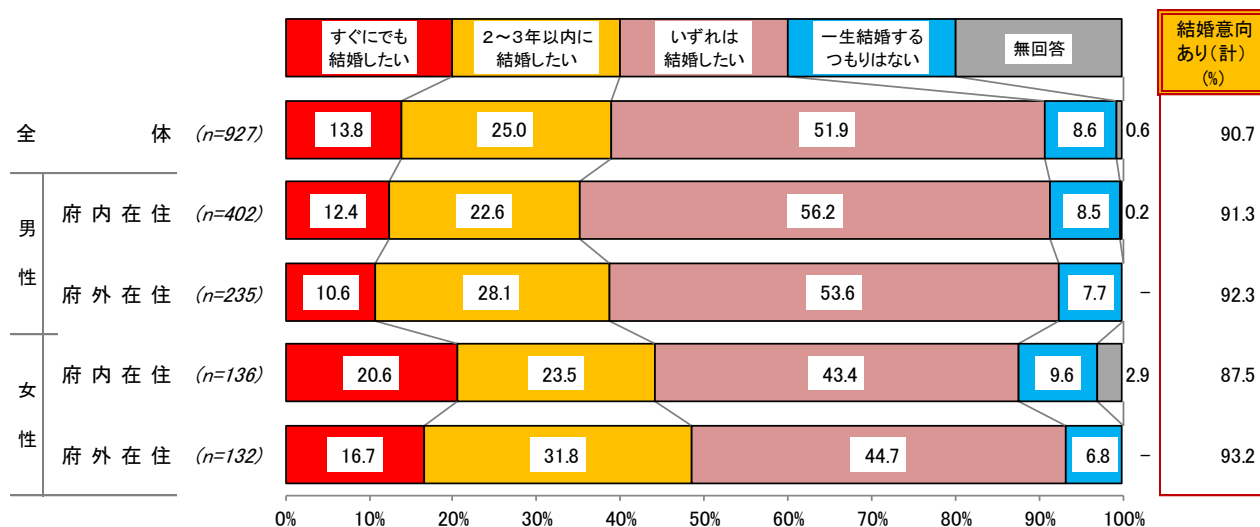


(3) 将来の結婚意向

【問25で「3 結婚したことはない」と答えた方にお聞きします。】

問27 あなたは、将来結婚したいと思いますか。あてはまるものを1つお選びください。

図表 3-3-1

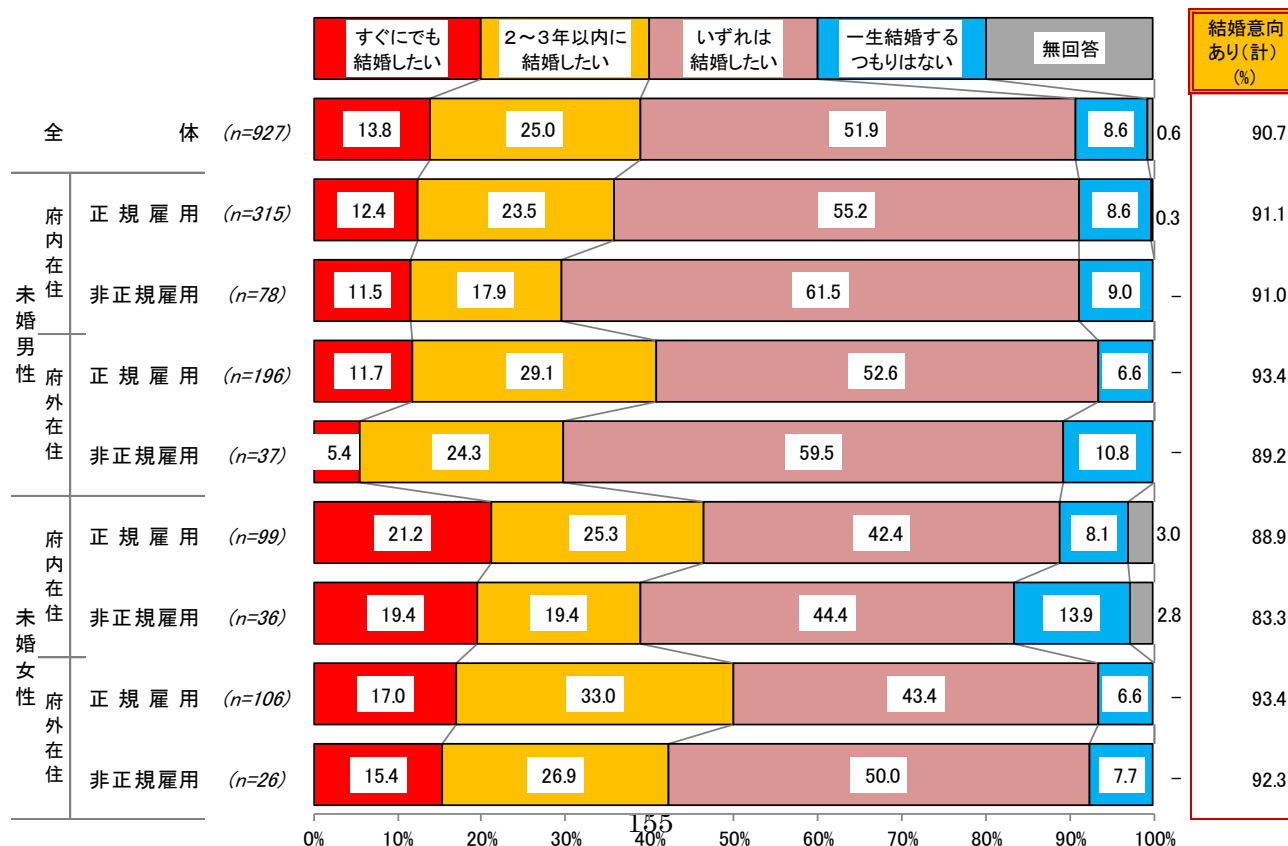


未婚者（927人）に将来の結婚意向を聞いたところ（図表 3-3-1）、「すぐにでも結婚したい」という強い結婚意向は13.8%、「2～3年以内に結婚したい」は25.0%で、「いずれは結婚したい」（51.9%）を足しあげた『結婚意向』がある者は、約9割となっている。

性・居住地別にみると、男女それぞれについて、居住地による大きな差はみられない（図表 3-3-1）。府内在住者では、「すぐにでも結婚したい」（男性12.4%、女性20.6%）という者は、男性よりも女性に多い。

性・居住地・就労状況別にみても、大きな差はみられない（図表 3-3-2）。

図表 3-3-2 将来の結婚意向（性・居住地・就労状況別）



(4) 結婚しない理由

【問27で「4 一生結婚するつもりはない」と答えた方にお聞きます。】

問28 あなたが、結婚するつもりがないのはなぜですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

図表 3-4-1

		(%)											
		自分の時間を失いたくない	経済的な責任が重くなる	恋愛が面倒、うまく付き合えない	結婚相手として適当な人がいない	と親せき付き合いなど、経済的なこと以外の責任が重くなる	子どもが欲しくない	子育てが大変そう	仕事（学業）との両立が難しい	姓を変えるのに抵抗がある	離婚が不安である	その他	無回答
全	体 (n=80)	56.3	35.0	32.5	31.3	27.5	15.0	5.0	3.8	3.8	2.5	11.3	1.3
男	府内在住 (n=34)	58.8	29.4	20.6	32.4	26.5	17.6	5.9	-	2.9	5.9	8.8	-
	府外在住 (n=18)	72.2	55.6	38.9	27.8	16.7	-	-	5.6	-	-	16.7	-
女	府内在住 (n=13)	46.2	23.1	30.8	23.1	30.8	30.8	-	7.7	7.7	-	23.1	-
	府外在住 (n=9)	22.2	11.1	44.4	44.4	44.4	22.2	22.2	11.1	11.1	-	-	11.1

未婚者で「一生結婚するつもりはない」という者（80人）のその理由としては（図表 3-4-1）、「自分の時間を失いたくない」が 56.3%で最も多くあげられ、以下「経済的な責任が重くなる」（35.0%）、「恋愛が面倒、うまく付き合えない」（32.5%）、「結婚相手として適当な人がいない」（31.3%）、「親せき付き合いなど、経済的なこと以外の責任が重くなる」（27.5%）などの順となっている。

(5) 結婚を希望する状況

【将来結婚したいとお考えの方（問27で「1」～「3」と答えた方）にお聞きます。】

問29 あなたは、どのような状況になれば結婚したいと思いますか。

ご自分に最もあてはまると思うことをいくつでもお選びください。

図表 3-5-1

		経済的に余裕ができる	結婚の必要性を感じる	自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う	子どもが欲しくなる	精神的に余裕ができる	交際相手と知り合う（出会う）機会がある	交際相手とうまく付き合えるようになる	交際相手が、親や周囲に認められる	まわりの友人が結婚しはじめる	雇用が安定する	結婚生活のための住居のめ	自分の自由になる時間があ	その他	特にな	わか	無
																	回
全 体 (n=841)		42.8	38.2	34.6	33.7	31.4	30.4	26.2	18.8	17.2	12.6	10.9	8.4	1.2	3.0	2.3	0.6
男 性	府 内 在 住 (n=367)	41.7	37.6	28.9	30.5	32.7	28.1	24.0	13.1	15.8	13.6	9.0	7.6	0.8	3.0	3.0	0.8
	府 外 在 住 (n=217)	46.5	41.9	34.1	27.2	28.6	35.5	24.4	14.3	13.8	11.5	12.4	10.1	2.3	3.2	1.4	0.5
女 性	府 内 在 住 (n=119)	35.3	30.3	42.0	42.0	33.6	32.8	33.6	28.6	18.5	8.4	11.8	8.4	0.8	3.4	1.7	-
	府 外 在 住 (n=123)	49.6	42.3	46.3	45.5	33.3	28.5	30.1	34.1	25.2	15.4	13.8	8.1	0.8	1.6	1.6	0.8

未婚者で結婚意向のある者（841 人）が結婚を希望する状況としては（図表 3-5-1）、「経済的に余裕ができる」が 42.8%で最も多くあげられ、以下「結婚の必要性を感じる」（38.2%）、「自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う」（34.6%）、「子どもが欲しくなる」（33.7%）、「精神的に余裕ができる」（31.4%）、「交際相手と知り合う（出会う）機会がある」（30.4%）、「交際相手とうまく付き合えるようになる」（26.2%）などの順となっている。

性・居住地別にみると（図表 3-5-1）、男性では「交際相手と知り合う（出会う）機会がある」（府内 28.1%、府外 35.5%）が府内在住者より府外在住者に多くあげられている。女性では「経済的に余裕ができる」（府内 35.3%、府外 49.6%）、「結婚の必要性を感じる」（同 30.3%、42.3%）、「まわりの人が結婚しはじめる」（同 18.5%、25.2%）、「雇用が安定する」（同 8.4%、15.4%）などは、府内在住者より府外在住者に多くあげられている。

また、居住地で男女別にみると、府内在住者では、「経済的に余裕ができる」（男性 41.7%、女性 35.3%）と「結婚の必要性を感じる」（同 37.6%、30.3%）は女性より男性に、「自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う」（同 28.9%、42.0%）、「子どもが欲しくなる」（同 30.5%、42.0%）、「交際相手とうまく付き合えるようになる」（同 24.0%、33.6%）、「交際相手が、親や周囲に認められる」（同 13.1%、28.6%）などは男性より女性に多くあげられている。

一方、府外在住者でも、「自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う」（同 34.1%、46.3%）、「子どもが欲しくなる」（同 27.2%、45.5%）、「交際相手とうまく付き合えるようになる」（同 24.4%、30.1%）、「交際相手が、親や周囲に認められる」（同 14.3%、34.1%）のほか、「精神的に余裕ができる」（同 28.6%、33.3%）、「まわりの人が結婚しはじめる」（同 13.8%、25.2%）などが男性より女性に、「交際相手と知り合う機会がある」（同 35.5%、28.5%）が女性より男性に、それぞれ多くあげられている。

性・居住地・就労状況別にみると（図表 3-5-2）、府内在住の男性では、「精神的に余裕ができる」（正規 34.1%、非正規 25.4%）は非正規雇用者より正規雇用者に、「雇用が安定する」（同 10.5%、26.8%）と「まわりの人が結婚しはじめる」（同 13.6%、22.5%）は正規雇用者よりも非正規雇用者に、それぞれ多くあげられている。また、男性の正規雇用者を比較すると、「精神的に余裕ができる」（府内 34.1%、府外 25.1%）は府外在住者より府内在住者に、「交際相手と知り合う機会がある」（同 28.6%、36.1%）は府内在住者より府外在住者に、それぞれ多くあげられている。

女性の正規雇用者では、「経済的に余裕ができる」（府内 37.5%、府外 47.5%）、「結婚の必要性を感じる」（同 33.0%、46.5%）、「まわりの人が結婚しはじめる」（同 18.2%、26.3%）が、府内在住者より府外在住者に多くあげられている。一方、「交際相手と知り合う機会がある」（同 35.2%、29.3%）と「交際相手とうまく付き合えるようになる」（同 33.0%、28.3%）は、府外在住者より府内在住者にやや多くあげられている。

図表 3-5-2 結婚を希望する状況（性・居住地・就労状況別）

			経済的に余裕ができる	結婚の必要性を感じる	相手が自分の希望の条件を満たす	子どもが欲しくなる	精神的に余裕ができる	交際相手と知り合う（出会いの機会がある）	交際相手とうまく付き合えるようになる	交際相手が、親や周囲に認められる	まわりの友人が結婚しはじめる	雇用が安定する	結婚生活のための住居のめどがたつ	自分の自由になる時間がある	その他の	特にない	わからない	無回答
全 体 (n=841)			42.8	38.2	34.6	33.7	31.4	30.4	26.2	18.8	17.2	12.6	10.9	8.4	1.2	3.0	2.3	0.6
未婚男性	府内	正 規 雇 用 (n=287)	40.8	38.3	28.9	31.4	34.1	28.6	24.4	13.2	13.6	10.5	7.7	8.0	0.7	3.1	2.8	0.7
	府内	非正規雇用 (n=71)	42.3	36.6	26.8	29.6	25.4	26.8	23.9	11.3	22.5	26.8	12.7	4.2	1.4	2.8	2.8	1.4
	府外	正 規 雇 用 (n=183)	43.7	41.5	33.9	27.3	25.1	36.1	26.8	13.7	13.7	8.7	12.6	10.9	2.2	3.8	1.1	0.5
	府外	非正規雇用 (n=33)	60.6	45.5	36.4	27.3	45.5	30.3	12.1	18.2	15.2	27.3	12.1	6.1	3.0	-	3.0	-
未婚女性	府内	正 規 雇 用 (n=88)	37.5	33.0	45.5	44.3	34.1	35.2	33.0	31.8	18.2	9.1	12.5	8.0	1.1	3.4	1.1	-
	府内	非正規雇用 (n=30)	26.7	23.3	33.3	33.3	30.0	26.7	33.3	16.7	16.7	3.3	10.0	10.0	-	3.3	3.3	-
	府外	正 規 雇 用 (n=99)	47.5	46.5	48.5	46.5	31.3	29.3	28.3	35.4	26.3	13.1	16.2	9.1	1.0	2.0	2.0	1.0
	府外	非正規雇用 (n=24)	58.3	25.0	37.5	41.7	41.7	25.0	37.5	29.2	20.8	25.0	4.2	4.2	-	-	-	-

(6) 居住地の自治体に期待する結婚支援事業

【将来結婚したいとお考えの方（問27で「1」～「3」と答えた方）にお聞きします。】

問30 あなたが、京都府やお住まいの市区町村におこなってもらいたい結婚支援事業は、どのようなものですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

図表 3-6-1

		(%)									
		結婚祝い金の支給	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給	出合いの場・婚活イベントの提供・実施	結婚相談窓口の設置	交際術、ファッション等の講座、の実施	結婚講座・人生観等について	国際結婚を支援するため	その他	特におこなってもらいたくない事業はない	無回答
全	体 (n=841)	50.8	44.6	26.8	10.3	5.1	3.8	3.4	0.5	24.9	0.8
男	府内在住 (n=367)	47.7	39.5	28.6	11.4	6.0	5.2	3.8	0.5	27.8	0.3
性	府外在住 (n=217)	46.5	41.0	26.7	9.2	6.0	3.2	1.4	-	26.3	0.9
女	府内在住 (n=119)	59.7	52.9	31.1	12.6	3.4	2.5	5.0	0.8	19.3	1.7
性	府外在住 (n=123)	59.3	58.5	17.9	7.3	3.3	2.4	4.9	-	17.1	1.6

未婚者で結婚意向のある者（841人）が、京都府や居住地の自治体に実施を希望する結婚支援事業としては（図表3-6-1）、「結婚祝い金の支給」（50.8%）が最も多くあげられ、次いで「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」（44.6%）、「出合いの場・婚活イベントの提供・実施」（26.8%）などの順となっている。

「特におこなってもらいたくない事業はない」という者は24.9%で、4人に3人の未婚者は、なんらかの『結婚支援事業をおこなってほしい』と回答している。

性・居住地別にみると（図表3-6-1）、男性では居住地による大きな差はみられない。一方、女性は、「出合いの場・婚活イベントの提供・実施」が府外在住者（17.9%）よりも府内在住者（31.1%）に多くあげられている。

また、居住地で男女別にみると、府内在住者では、「結婚祝い金の支給」（男性47.7%、女性59.7%）と「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」（同39.5%、52.9%）が、男性よりも女性に多くあげられている。一方、府外在住者でも、「結婚祝い金の支給」（同46.5%、59.3%）と「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」（同41.0%、58.5%）は男性より女性に、「出合いの場・婚活イベントの提供・実施」（同26.7%、17.9%）は女性より男性に、それぞれ多くあげられている。

性・居住地・就労状況別にみると（図表 3-6-2）、府内在住の男性では、「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」（正規 41.1%、非正規 33.8%）と「出会いの場・婚活イベントの提供・実施」（同 30.7%、21.1%）が非正規雇用者よりも正規雇用者に多くあげられ、「交際術、ファッション、マナー等についての講座の実施」（同 3.5%、14.1%）は、正規雇用者よりも非正規雇用者に多くあげられている。

正規雇用者の女性では、「出会いの場・婚活イベントの提供・実施」（府内 30.7%、府外 17.2%）は、府外在住者より府内在住者が強く期待している。

図表 3-6-2 居住地の自治体に期待する結婚支援事業（性・居住地・就労状況別）

(%)

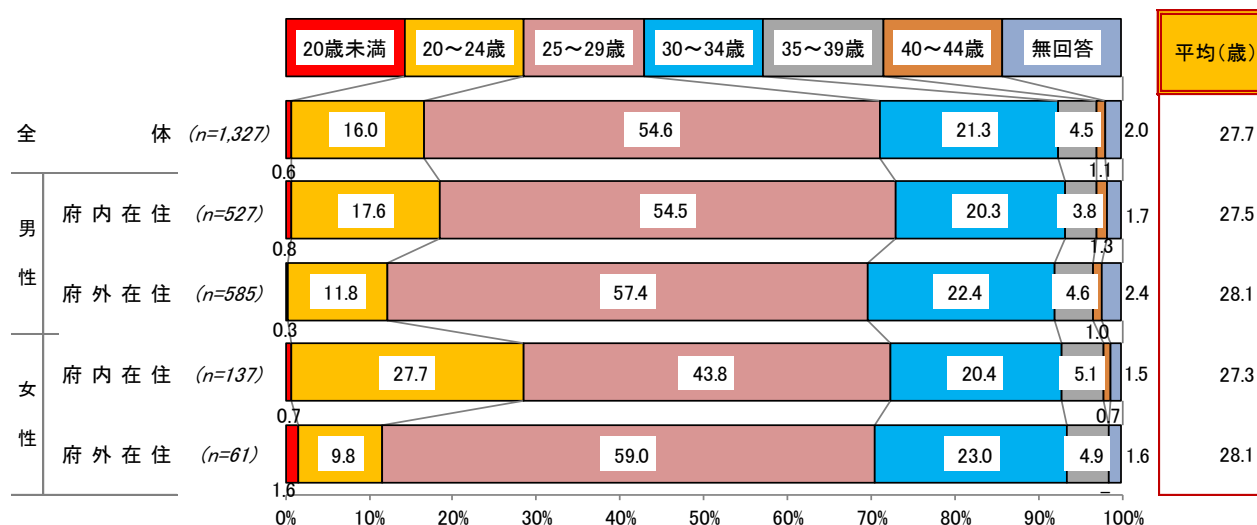
			結婚祝い金の支給	新婚夫婦対象の住宅提供・補助金支給	出会いの場・婚活イベントの提供・実施	結婚相談窓口の設置	交際術、ファッション、マナー等についての講座の実施	結婚観・人生観等についての講座の実施	国際結婚を支援するため	その他	特に必要はない	無回答
全	体	(n=841)	50.8	44.6	26.8	10.3	5.1	3.8	3.4	0.5	24.9	0.8
未婚男性	府内在住	正 規 雇 用 (n=287)	48.1	41.1	30.7	12.2	3.5	5.2	4.2	0.7	26.1	0.3
	府内在住	非正規雇用 (n=71)	46.5	33.8	21.1	8.5	14.1	5.6	2.8	-	31.0	-
	府外在住	正 規 雇 用 (n=183)	50.8	42.6	27.9	8.7	5.5	2.2	1.6	-	24.6	-
	府外在住	非正規雇用 (n=33)	24.2	33.3	21.2	12.1	9.1	9.1	-	-	33.3	6.1
未婚女性	府内在住	正 規 雇 用 (n=88)	58.0	54.5	30.7	14.8	3.4	3.4	4.5	1.1	17.0	2.3
	府内在住	非正規雇用 (n=30)	66.7	50.0	33.3	6.7	3.3	-	6.7	-	23.3	-
	府外在住	正 規 雇 用 (n=99)	57.6	57.6	17.2	8.1	4.0	2.0	5.1	-	19.2	2.0
	府外在住	非正規雇用 (n=24)	66.7	62.5	20.8	4.2	-	4.2	4.2	-	8.3	-

（７）初婚年齢

【現在結婚しているか、結婚の経験のある方（問２５で「１」「２」と答えた方）にお聞きます。】

問３１ あなたが、初めて結婚したのは何歳の時でしたか。

図表 3-7-1

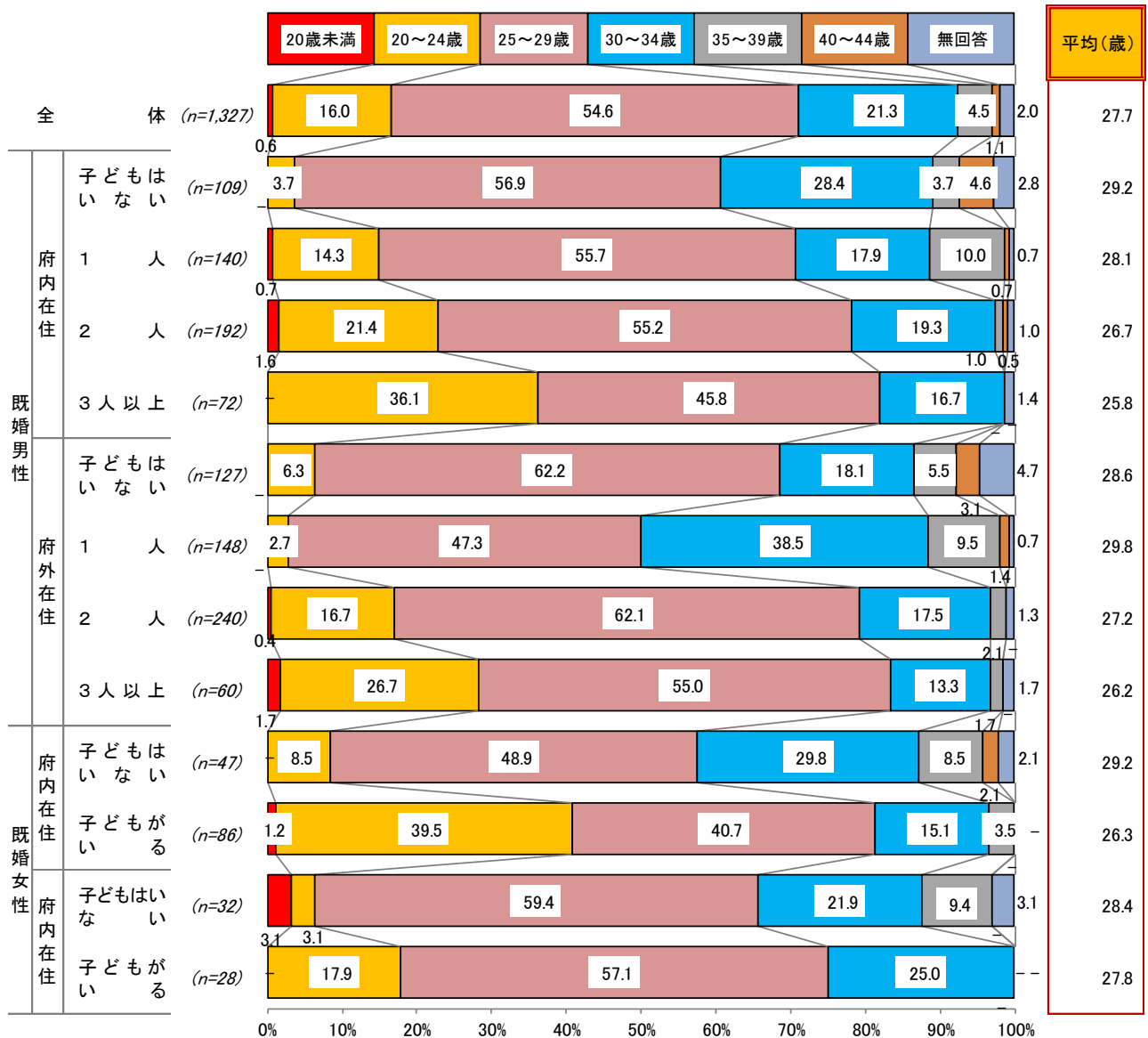


現在結婚しているか、結婚の経験のある既婚者（1,327 人）に初めて結婚した年齢を聞いたところ（図表 3-7-1）、「25～29 歳」が 54.6% で最も多く、次いで「30～34 歳」（21.3%）、「20～24 歳」（16.0%）などの順で、平均 27.7 歳である。

性・居住地別にみると（図表 3-7-1）、男女とも「20～24 歳」での結婚は、府外在住者（男性 11.8%、女性 9.8%）より府内在住者（同 17.6%、27.7%）に多く、平均初婚年齢は、男性府内在住者 27.5 歳、男性府外在住者 28.1 歳、女性府内在住者 27.3 歳、女性府外在住者 28.1 歳である。

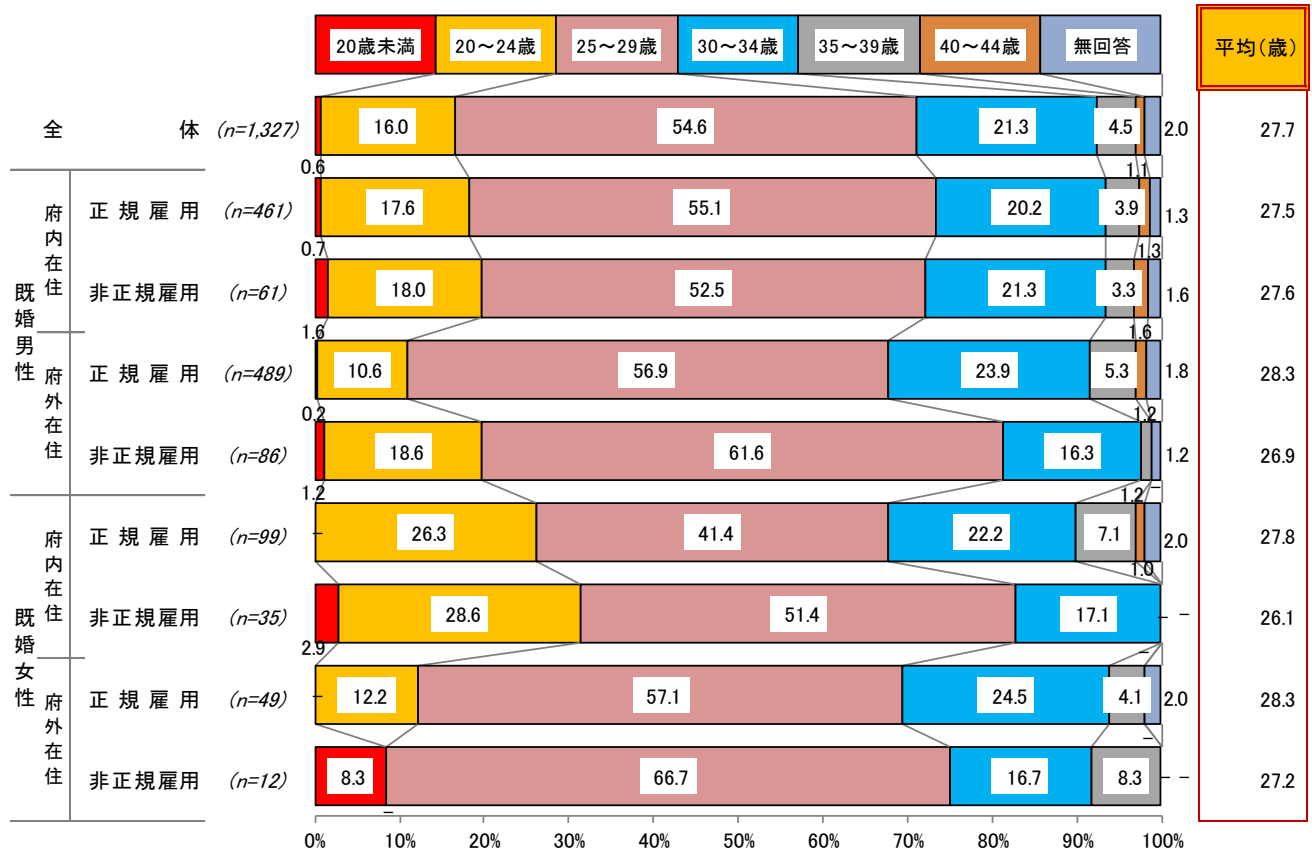
性・居住地・子どもの人数別にみると（図表 3-7-2）、男性では、居住地にかかわらず、子どもの人数が多い者ほど初婚年齢が「20～24 歳」が多くなり、子ども 1 人の層が府内 14.3%、府外 2.7%であるのに対し、子どもが 3 人以上いる層は府内在住者 36.1%、府外在住者 26.7%となっている。平均初婚年齢も、子どもの人数が多い人ほど若い傾向にある。

図表 3-7-2 初婚年齢（性・居住地・子どもの人数別）



性・居住地・就労状況別にみると（図表 3-7-3）、男性では、府外在住の非正規雇用者が平均初婚年齢は 26.9 歳であるのに対して、正規雇用者は 28.3 歳と差がみられる。

図表 3-7-3 初婚年齢（性・居住地・就労状況別）



(8) 結婚相手と知り合ったきっかけ

【現在結婚しているか、結婚の経験のある方（問25で「1」「2」と答えた方）にお聞きします。】

問32 あなたの結婚相手とは、どのようなきっかけで知り合いましたか。あてはまるものを1つお選びください。

図表 3-8-1

図表 5-8-1

			(%)												
			職場や仕事の関係で	友人や兄弟姉妹を通じて	同じ学校に在学して	学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで	街なかや旅先で	アルバイトで	幼なじみ・隣人関係	見合いで（親せき・上司などの紹介を含む）	結婚相談所で	居住都道府県内の婚活イベントで	居住都道府県外の婚活イベントで	その他	無回答
全	体	(n=1,327)	30.7	29.3	13.6	6.9	3.8	3.6	2.5	2.4	1.3	0.6	0.5	2.6	2.2
男 性	府内在住	(n=527)	30.0	30.9	12.9	7.4	3.8	2.3	2.8	2.1	1.3	0.8	-	2.8	2.8
	府外在住	(n=585)	28.5	29.1	13.5	7.4	4.3	4.3	2.6	3.4	1.4	0.3	1.2	2.4	1.7
女 性	府内在住	(n=137)	39.4	25.5	14.6	5.8	2.2	3.6	1.5	-	-	1.5	-	3.6	2.2
	府外在住	(n=61)	41.0	19.7	16.4	3.3	3.3	9.8	1.6	1.6	1.6	-	-	-	1.6

既婚者（1,327人）が結婚相手と知り合ったきっかけを聞いたところ（図表3-8-1）、「職場や仕事の関係で」が30.7%で最も多く、次いで「友人や兄弟姉妹を通じて」（29.3%）、「同じ学校に在学して」（13.6%）の順となっている。

性・居住地別にみると（図表3-8-1）、男女とも居住地による大きな差はみられない。

居住地で男女別にみると、府内在住者では「職場や仕事の関係で」（男性30.0%、女性39.4%）が、男性より女性に多くあげられている。一方、府外在住者では、「職場や仕事の関係で」（同28.5%、41.0%）は男性より女性に、「友人や兄弟姉妹を通じて」（同29.1%、19.7%）は女性より男性に、それぞれ多くあげられている。

性・居住地・就労状況別にみると（図表 3-8-2）、府内在住の男性では、「職場や仕事の関係で」（正規 28.6%、非正規 41.0%）は正規雇用者より非正規雇用者に、「友人や兄弟姉妹を通じて」（同 32.5%、21.3%）は非正規雇用者より正規雇用者に、それぞれ多くあげられている。府外在住の男性も同様に、職場や仕事の関係で」（同 26.2%、41.9%）は正規雇用者より非正規雇用者に、「友人や兄弟姉妹を通じて」（同 30.5%、23.3%）も「同じ学校に在籍して」（同 15.1%、5.8%）は非正規雇用者より正規雇用者に、それぞれ多くあげられている。

府内在住の正規雇用者を男女別にみると、「職場や仕事の関係で」（男性 28.6%、女性 45.5%）は男性より女性に、「友人や兄弟姉妹を通じて」（同 32.5%、19.2%）は女性より男性に、それぞれ多くあげられている。

図表 3-8-2 結婚相手と知り合ったきっかけ（性・居住地・就労状況別）

			(%)													
			職場や仕事の関係で	友人や兄弟姉妹を通じて	同じ学校に在学して	学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで	街なかや旅先で	アルバイトで	幼なじみ・隣人関係	(親せき・上司などの紹介を含む)	見合いで	結婚相談所で	居住都道府県内の婚活イベントで	居住都道府県外の婚活イベントで	その他	無回答
全 体 (n=1,327)			30.7	29.3	13.6	6.9	3.8	3.6	2.5	2.4	1.3	0.6	0.5	2.6	2.2	
既 婚 男 性	府 内 在 住	正 規 雇 用 (n=461)	28.6	32.5	12.8	8.0	3.3	2.4	3.0	2.2	1.5	0.7	-	2.6	2.4	
		非正規雇用 (n=61)	41.0	21.3	13.1	3.3	8.2	1.6	1.6	1.6	-	1.6	-	3.3	3.3	
	府 外 在 住	正 規 雇 用 (n=489)	26.2	30.5	15.1	7.8	4.9	4.5	2.0	3.3	1.4	0.4	1.2	2.0	0.6	
		非正規雇用 (n=86)	41.9	23.3	5.8	5.8	1.2	3.5	5.8	3.5	1.2	-	-	4.7	3.5	
既 婚 女 性	府 内 在 住	正 規 雇 用 (n=99)	45.5	19.2	14.1	8.1	1.0	2.0	2.0	-	-	2.0	-	3.0	3.0	
		非正規雇用 (n=35)	22.9	42.9	17.1	-	2.9	8.6	-	-	-	-	-	5.7	-	
	府 外 在 住	正 規 雇 用 (n=49)	44.9	22.4	12.2	2.0	2.0	10.2	2.0	2.0	-	-	-	-	2.0	
		非正規雇用 (n=12)	25.0	8.3	33.3	8.3	8.3	8.3	-	-	8.3	-	-	-	-	

(9) 結婚相手との育児以外の家事分担

【現在結婚しているか、結婚の経験のある方（問25で「1」「2」と答えた方）にお聞きします。】

問33 あなたの結婚相手との、育児以外の家事の分担はどのようにしていますか（していましたか）。全体を100%としてお答えください。

図表 3-9-1

図表 3-5-1

																	(%)
			0%	1～9%	10%台	20%台	30%台	40%台	50%台	60%台	70%台	80%台	90%台	100%	無回答	平均 (%)	
全 体 (n=1,327)			3.3	8.4	20.8	17.1	16.6	7.3	9.1	2.6	3.4	3.1	4.3	1.4	2.5	31.1	
男 性	府内在住 (n=527)		4.2	8.5	23.0	18.8	22.2	9.5	7.8	0.6	0.9	0.8	0.6	0.2	3.0	24.0	
	府外在住 (n=585)		3.6	11.3	25.6	21.4	16.8	7.9	8.9	1.0	1.2	0.2	—	—	2.2	22.2	
女 性	府内在住 (n=137)		—	—	0.7	0.7	1.5	0.7	12.4	12.4	16.8	17.5	24.1	10.2	2.9	75.5	
	府外在住 (n=61)		—	—	—	—	—	—	9.8	13.1	16.4	19.7	34.4	6.6	—	78.5	

既婚者（1,327人）の結婚相手との育児以外の家事の分担の割合を聞いたところ（図表 3-9-1）、全体では「10%台」が20.8%、「20%台」が17.1%、「30%台」が16.6%となっている。平均すると31.1%である。

性・居住地別にみると（図表 3-9-1）、男性では、「30%台」（府内22.2%、府外16.8%）は府外在住者より府内在住者の方がやや多く、家事の分担割合を平均すると府内在住者が24.0%、府外在住者は22.2%となっている。女性の分担割合（府内平均75.5%、府外平均78.5%）は居住地による大きな差はみられず、男女差が大きい。

性・居住地・子どもの人数別にみると（図表 3-9-2）、府内在住の男性では、子どもの人数が増えるほど家事分担の平均は下がり、子どもがいない者が 29.5%であるのに対し、子どもが 3 人以上の者は平均 21.0%となっている。府外在住の男性も同様で、子どものいない者が 26.7%であるのに対し、子どもが 3 人以上の層は 16.0%となっている。

図表 3-9-2 結婚相手との育児以外の家事分担（性・居住地・子どもの人数別）

				0%	1～9%	10%台	20%台	30%台	40%台	50%台	60%台	70%台	80%台	90%台	100%	無回答	平均 (%)
全 体 (n=1,327)				3.3	8.4	20.8	17.1	16.6	7.3	9.1	2.6	3.4	3.1	4.3	1.4	2.5	31.1
既 婚 男 性	府 内 在 住	子 ども は い な い (n=109)		0.9	4.6	17.4	12.8	30.3	14.7	9.2	0.9	2.8	1.8	-	-	4.6	29.5
		1 人 (n=140)		1.4	8.6	25.0	21.4	23.6	8.6	7.9	0.7	1.4	0.7	-	0.7	-	24.6
		2 人 (n=192)		6.8	10.4	24.0	20.8	20.8	7.8	6.8	0.5	-	0.5	1.0	-	0.5	21.8
		3 人 以 上 (n=72)		8.3	11.1	26.4	19.4	13.9	9.7	8.3	-	-	-	1.4	-	1.4	21.0
	府 外 在 住	子 ども は い な い (n=127)		1.6	3.1	26.8	15.7	22.0	12.6	12.6	1.6	1.6	-	-	-	2.4	26.7
		1 人 (n=148)		2.0	8.8	24.3	25.0	17.6	7.4	8.8	1.4	3.4	0.7	-	-	0.7	24.6
		2 人 (n=240)		4.2	15.8	25.0	23.3	15.8	6.3	7.9	0.8	-	-	-	-	0.8	19.9
		3 人 以 上 (n=60)		10.0	16.7	33.3	20.0	6.7	5.0	6.7	-	-	-	-	-	1.7	16.0
既 婚 女 性	府 内 在 住	子 ども は い な い (n=47)		-	-	-	2.1	2.1	2.1	12.8	12.8	29.8	10.6	21.3	4.3	2.1	71.0
		子 ども が い る (n=86)		-	-	1.2	-	1.2	-	10.5	11.6	10.5	22.1	26.7	14.0	2.3	78.7
	府 外 在 住	子 ども は い な い (n=32)		-	-	-	-	-	-	12.5	12.5	15.6	21.9	28.1	9.4	-	77.5
		子 ども が い る (n=28)		-	-	-	-	-	-	7.1	14.3	14.3	17.9	42.9	3.6	-	80.0

性・居住地・就労状況別にみると（図表 3-9-3）、男性の家事の分担の平均割合は、居住地にかかわらず非正規雇用者（同 23.9%、20.6%）より正規雇用者（府内 24.1%、府外 22.5%）の方が高く、府外在住者より府内在住者の方が高くなっている。

図表 3-9-3 結婚相手との育児以外の家事分担（性・居住地・就労状況別）

				0%	1～9%	10%台	20%台	30%台	40%台	50%台	60%台	70%台	80%台	90%台	100%	無回答	平均 (%)
全 体 (n=1,327)				3.3	8.4	20.8	17.1	16.6	7.3	9.1	2.6	3.4	3.1	4.3	1.4	2.5	31.1
既 婚 男 性	府 内 在 住	正 規 雇 用 (n=461)		4.1	8.7	23.2	18.7	22.1	10.4	7.2	0.7	0.9	0.9	0.7	0.2	2.4	24.1
		非正規雇用 (n=61)		4.9	4.9	23.0	21.3	23.0	3.3	13.1	-	1.6	-	-	-	4.9	23.9
	府 外 在 住	正 規 雇 用 (n=489)		3.9	11.7	24.5	21.3	17.8	7.8	9.6	1.0	1.0	0.2	-	-	1.2	22.5
		非正規雇用 (n=86)		2.3	9.3	33.7	22.1	11.6	9.3	5.8	1.2	1.2	-	-	-	3.5	20.6
既 婚 女 性	府 内 在 住	正 規 雇 用 (n=99)		-	-	1.0	1.0	2.0	1.0	16.2	14.1	17.2	16.2	20.2	8.1	3.0	72.0
		非正規雇用 (n=35)		-	-	-	-	-	-	2.9	8.6	14.3	22.9	31.4	17.1	2.9	84.1
	府 外 在 住	正 規 雇 用 (n=49)		-	-	-	-	-	-	8.2	12.2	18.4	22.4	32.7	6.1	-	78.7
		非正規雇用 (n=12)		-	-	-	-	-	-	16.7	16.7	8.3	8.3	41.7	8.3	-	77.5

(10) 配偶者（パートナー）の職業

【現在結婚している方（問 2 5 で「1」と答えた方）にお聞きします。

離別または死別した方は、1 1 ページの問 3 7 にお進みください。】

問 3 4 あなたの配偶者（パートナー）の現在の仕事は、大きく分けてこの中のどれにあたりますか。あてはまるものを 1 つお選びください。

図表 3-10-1

		正社員・正職員	非正規雇用（計）	臨時雇用・パート・アルバイト	契約社員、嘱託	派遣社員	自営業主・自由業者	家族従業者	内職	経営者、役員	その他	無職（計）	学生	無職（求職中）	（求職中ではない）無職	無回答
全 体 (n=1,269)		32.9	28.9	24.4	3.0	1.5	1.6	1.3	0.9	0.5	0.2	31.1	0.2	3.0	27.9	2.6
男 性	府内在住 (n=507)	21.9	34.7	30.6	2.6	1.6	0.6	1.2	1.6	-	0.4	36.5	-	3.4	33.1	3.2
	府外在住 (n=571)	27.7	30.1	25.6	3.2	1.4	1.2	1.8	0.7	0.4	-	35.9	0.2	3.5	32.2	2.3
女 性	府内在住 (n=120)	82.5	7.5	1.7	5.0	0.8	5.8	-	-	2.5	-	-	-	-	-	1.7
	府外在住 (n=55)	83.6	1.8	-	-	1.8	3.6	-	-	1.8	-	7.3	3.6	1.8	1.8	1.8

事実婚を含み、現在結婚している者（1,269 人）の配偶者（パートナー）の職業を聞いたところ（図表 3-10-1）、「正社員・正職員」が 32.9%で最も多く、次いで「臨時雇用・パート・アルバイト」が 24.4%で、6 割以上の配偶者（パートナー）は何らかの仕事をしている『有職』である。（『有職』66.3%）。

一方、「無職（求職中ではない）」は 27.9%で、「無職（求職中）」（3.0%）、「学生」（0.2%）などを合わせると、『無職』が 31.1%となっている。

性・居住地別にみると（図表 3-10-1）、男性回答者の妻が「正社員・正職員」（府内 21.9%、府外 27.7%）は府内在住者より府外在住者に多く、「臨時雇用・パート・アルバイト」（同 30.6%、25.6%）は府外在住者より府内在住者にやや多い。専業主婦と考えられる「無職（求職中ではない）」（同 33.1%、32.2%）の妻をもつ者は、ともに約 3 割を占める。一方、女性の夫は、府内在住者と府外在住者ともに、「正社員・正職員」（同 82.5%、83.6%）がともに約 8 割を占めている。

夫婦の共働き状況としてをみると（図表 3-10-2）、「妻が正規雇用者の共働き」（31.3％）と「妻が非正規雇用者の共働き」（30.3％）がともに 3 割で並び、ほぼ 3 人に 2 人が『夫婦共働き』（64.9％）である。

性・居住地別にみると（図表 3-10-2）、居住地による男女差はみられない。

図表 3-10-2 夫婦の共働き状況（性・居住地別）

(%)

			共働き (計)	妻正規	妻非正規	妻役員・ 自営	妻その他	片働き (計)	妻無職	夫婦共無職	不明・ 無回答
全	体	(n=1,269)	64.9	31.3	30.3	1.0	2.4	30.9	30.5	-	4.2
男	府内在住	(n=507)	60.2	21.9	34.5	0.6	3.2	36.3	36.3	-	3.6
性	府外在住	(n=571)	60.9	27.5	29.4	1.6	2.5	35.7	35.6	-	3.3
女	府内在住	(n=120)	96.7	73.3	22.5	0.8	-	-	-	-	3.3
性	府外在住	(n=55)	90.9	70.9	20.0	-	-	7.3	-	-	1.8

性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 3-10-3）、男性では、府外在住の子どものいない男性に「妻が正規雇用者の共働き」（54.1％）が、過半数を占めている。居住地にかかわらず子どもがいる男性では、「妻が正規雇用者の共働き」（府内 19.1％、府外 20.3％）は 2 割前後で、『夫婦共働き』（府内 57.4％、府外 54.2％）が半数以上だが、「片働き」（同 41.1％、44.0％）も 4 割を上回って。子どものいない者より多くなっている。

一方、府内在住の子どもがいる女性では、「妻が正規雇用者の共働き」（68.5％）という者が 7 割近い。

図表 3-10-3 夫婦の共働き状況（性・居住地・子どもの有無別）

(%)

			共働き (計)	妻正規	妻非正規	妻役員・ 自営	妻その他	片働き (計)	妻無職	夫婦共無職	不明・ 無回答
全	体	(n=1,269)	64.9	31.3	30.3	1.0	2.4	30.9	30.5	-	4.2
男	府内在住	子どもはいない (n=101)	78.2	35.6	39.6	2.0	1.0	19.8	19.8	-	2.0
		子どもがいる (n=392)	57.4	19.1	34.2	0.3	3.8	41.1	41.1	-	1.5
性	府外在住	子どもはいない (n=122)	86.9	54.1	31.1	0.8	0.8	9.0	8.2	-	4.1
		子どもがいる (n=439)	54.2	20.3	29.4	1.8	2.7	44.0	44.0	-	1.8
女	府内在住	子どもはいない (n=43)	100.0	83.7	14.0	2.3	-	-	-	-	-
		子どもがいる (n=73)	95.9	68.5	27.4	-	-	-	-	-	4.1
性	府外在住	子どもはいない (n=27)	92.6	70.4	22.2	-	-	7.4	-	-	-
		子どもがいる (n=27)	88.9	70.4	18.5	-	-	7.4	-	-	3.7

性・居住地・就労状況別にみると（図表 3-10-4）、男性が非正規雇用者で「妻が正規雇用者の共働き」（府内 21.7%、府外 38.1%）は、府外在住者で 4 割近く、府内在住者を 16 ポイント上回っている。また、居住地にかかわらず、男性が非正規雇用者の者の 3 割は、妻が無職の「夫婦片働き」（府内 30.0%、府外 31.0%）である。

図表 3-10-4 夫婦の共働き状況（性・居住地・就労状況別）

(%)

			共働き (計)	妻正規	妻非正規	妻役員・ 自営	妻その他	片働き (計)	妻無職	夫婦共無職	不明・ 無回答
	全	体 (n=1,269)	64.9	31.3	30.3	1.0	2.4	30.9	30.5	-	4.2
男性	府内 在住	正規雇用者 (n=442)	60.2	22.2	34.2	0.7	3.2	37.3	37.3	-	2.5
		非正規雇用者 (n=60)	65.0	21.7	40.0	-	3.3	30.0	30.0	-	5.0
	府外 在住	正規雇用者 (n=477)	61.2	26.2	30.8	1.9	2.3	37.3	37.1	-	1.5
		非正規雇用者 (n=84)	66.7	38.1	25.0	-	3.6	31.0	31.0	-	2.4
女性	府内 在住	正規雇用者 (n=90)	97.8	97.8	-	-	-	-	-	-	2.2
		非正規雇用者 (n=27)	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	府外 在住	正規雇用者 (n=44)	88.6	88.6	-	-	-	9.1	-	-	2.3
		非正規雇用者 (n=11)	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-

(11) 配偶者（パートナー）の勤務状況

【現在結婚している方（問25で「1」と答えた方）にお聞きします。】

問35 配偶者（パートナー）の方の勤務状況として、あてはまるものをいくつでもお選びください。

図表 3-11-1

図表 3-11-1

														(%)
			在宅勤務制度がない	残業時間が長い	有給休暇が取りにくい	フレックスタイム制度が使えない	休日出勤が多い	通勤時間が長い	出張が多い	夜勤などがある、多い	単身赴任をすることがある	転勤が多い	いずれもあてはまらない	無回答
全	体	(n=841)	21.9	20.5	20.0	18.0	11.9	9.3	7.1	7.0	2.9	1.8	42.3	2.4
既婚男性	府内在住	(n=306)	14.1	9.2	18.0	12.4	6.9	5.6	1.0	5.6	0.3	0.7	54.9	2.0
	府外在住	(n=353)	25.2	17.8	14.7	20.1	9.3	8.2	7.9	4.8	—	0.8	42.8	3.7
既婚女性	府内在住	(n=118)	31.4	42.4	30.5	24.6	27.1	16.9	13.6	15.3	11.0	3.4	17.8	0.8
	府外在住	(n=50)	30.0	58.0	44.0	26.0	24.0	20.0	26.0	12.0	20.0	12.0	16.0	—

事実婚を含み、配偶者（パートナー）が働いている者（841人）の配偶者（パートナー）の勤務状況としては（図表3-11-1）、「在宅勤務制度がない」（21.9%）、「残業時間が長い」（20.5%）、「有給休暇が取りにくい」（20.0%）、「フレックスタイム制度が使えない」（18.0%）がいずれも1割台である。

「いずれもあてはまらない」という者は、42.3%である。

性・居住地別にみると（図表3-11-1）、男性の妻について「在宅勤務制度がない」（府内14.1%、府外25.2%）、「フレックスタイム制度が使えない」（同12.4%、20.1%）、「残業時間が長い」（同9.2%、17.8%）などは、いずれも府内在住者よりも府外在住者に多くあげられている。「いずれもあてはまらない」は府内在住者が54.9%、府外在住者が42.8%である。

一方、女性の夫では、「残業時間が長い」（同42.4%、58.0%）と「有給休暇が取りにくい」（同30.5%、44.0%）、「出張が多い」（同13.6%、26.0%）、「単身赴任をすることがある」（同11.0%、20.0%）、「転勤が多い」（同3.4%、12.0%）は、いずれも府内在住者より府外在住者に多くあげられている。

性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 3-11-2）、男性の妻は、子どもはいない層で「在宅勤務制度がない」（府内 17.7%、府外 36.1%）、「残業時間が長い」（同 15.2%、40.7%）、「フレックスタイム制度が使えない」（同 21.5%、36.1%）が他の層よりも多くあげられ、府内在住者より府外在住者に多い。府外在住の男性の子どもはいない者では、妻の「出張が多い」も 24.1%と突出して高い。これは、図表 3-10-2 で配偶者の職業として「正社員・正職員」が多かったことが影響していると考えられる。

図表 3-11-2 配偶者（パートナー）の勤務状況（性・居住地・子どもの有無別）

(%)

				在宅勤務制度がない	残業時間が長い	有給休暇が取りにくい	フレックスタイム制度が使えない	休日出勤が多い	通勤時間が長い	出張が多い	夜勤などがある、多い	単身赴任をすることがある	転勤が多い	いずれもまらない	無回答	
全 体				(n=841)	21.9	20.5	20.0	18.0	11.9	9.3	7.1	7.0	2.9	1.8	42.3	2.4
男 性	府内在住	子どもはいない	(n=79)	17.7	15.2	22.8	21.5	6.3	12.7	1.3	7.6	1.3	1.3	41.8	1.3	
		子どもがいる	(n=226)	12.8	7.1	16.4	9.3	7.1	3.1	0.9	4.9	－	0.4	59.3	2.2	
	府外在住	子どもはいない	(n=108)	36.1	40.7	18.5	36.1	8.3	8.3	24.1	4.6	－	1.9	27.8	2.8	
		子どもがいる	(n=241)	20.7	7.5	13.3	13.3	10.0	7.9	0.8	5.0	－	0.4	49.4	3.7	
女 性	府内在住	子どもはいない	(n=43)	27.9	41.9	37.2	16.3	37.2	16.3	20.9	18.6	2.3	2.3	14.0	－	
		子どもがいる	(n=72)	34.7	43.1	27.8	30.6	22.2	18.1	9.7	12.5	16.7	4.2	19.4	1.4	
	府外在住	子どもはいない	(n=25)	32.0	56.0	44.0	24.0	20.0	20.0	24.0	12.0	16.0	12.0	20.0	－	
		子どもがいる	(n=24)	25.0	62.5	41.7	29.2	29.2	20.8	29.2	12.5	25.0	12.5	12.5	－	

性・居住地・就労状況別にみると（図表 3-11-3）、府外在住の非正規雇用の男性の妻は、「在宅勤務制度がない」（44.6%）、「残業時間が長い」（41.1%）、「フレックスタイム制度が使えない」（39.3%）、「出張が多い」（37.5%）が他の層よりも多くあげられている。これも、図表 3-10-3 で配偶者の職業として「正社員・正職員」が多かったことが影響していると考えられる。

一方、府内在住の正規雇用の女性の夫は、「残業時間が長い」（42.0%）が最も多く、以下「在宅勤務制度がない」（33.0%）、「有給休暇が取りにくい」（31.8%）、「休日出勤が多い」（29.5%）、「フレックスタイム制度が使えない」（22.7%）などの順となっている。

図表 3-11-3 配偶者（パートナー）の勤務状況（性・居住地・就労状況別）

(%)

			在宅勤務制度がない	残業時間が長い	有給休暇が取りにくい	フレックスタイム制度が使えない	休日出勤が多い	通勤時間が長い	出張が多い	夜勤などがある、多い	単身赴任をすることがある	転勤が多い	あてはまらない	無回答
全	体	(n=841)	21.9	20.5	20.0	18.0	11.9	9.3	7.1	7.0	2.9	1.8	42.3	2.4
既婚男性	府内在住	正規雇用 (n=266)	14.7	8.3	18.4	12.8	6.8	4.9	1.1	5.6	0.4	0.8	56.0	1.9
	府内在住	非正規雇用 (n=39)	10.3	15.4	15.4	10.3	5.1	10.3	—	5.1	—	—	48.7	2.6
	府外在住	正規雇用 (n=292)	21.2	13.4	17.1	16.4	9.6	8.6	2.1	4.1	—	1.0	44.5	3.8
	府外在住	非正規雇用 (n=56)	44.6	41.1	3.6	39.3	8.9	7.1	37.5	8.9	—	—	32.1	3.6
既婚女性	府内在住	正規雇用 (n=88)	33.0	42.0	31.8	22.7	29.5	17.0	14.8	14.8	11.4	2.3	14.8	1.1
	府内在住	非正規雇用 (n=27)	22.2	40.7	25.9	29.6	11.1	18.5	7.4	14.8	7.4	7.4	29.6	—
	府外在住	正規雇用 (n=39)	30.8	64.1	51.3	28.2	25.6	23.1	30.8	10.3	25.6	12.8	12.8	—
	府外在住	非正規雇用 (n=11)	27.3	36.4	18.2	18.2	18.2	9.1	9.1	18.2	—	9.1	27.3	—

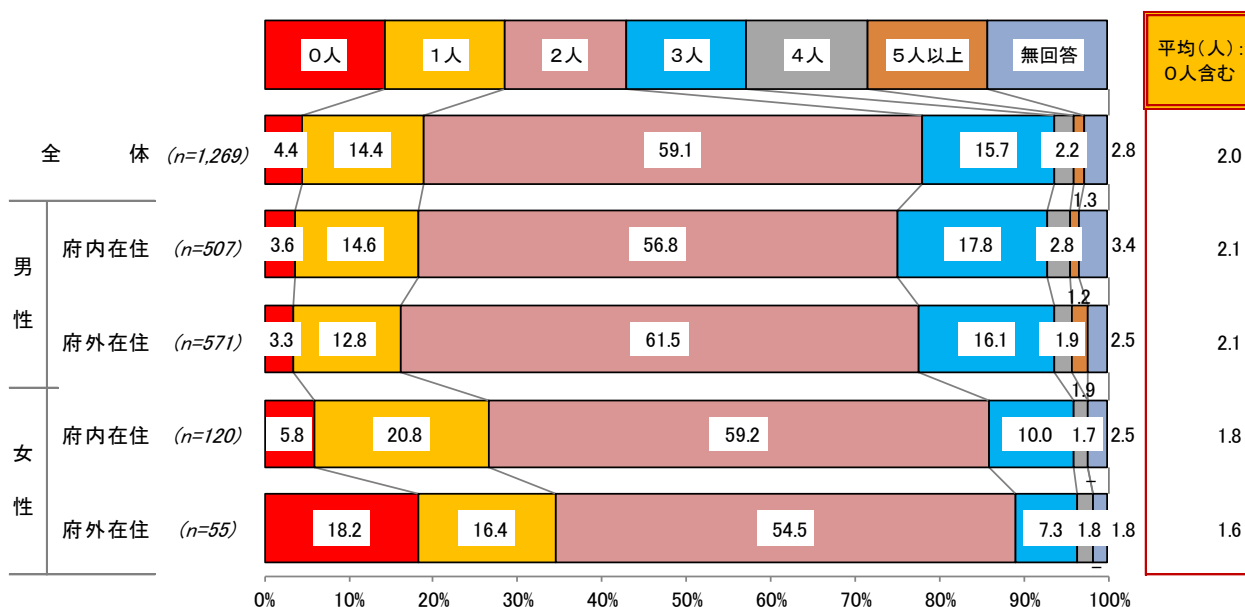
(12) 予定する子どもの人数

【現在結婚している方（問25で「1」と答えた方）にお聞きします。】

問36 あなた方ご夫婦では、最終的に何人の子どもを持つつもりですか。すでにお子さんがいる場合には、そのお子さんも含めてお答えください。

子どもを持つつもりがない方は、「0」とご記入ください。

図表 3-12-1



事実婚を含み、現在結婚している者（1,269人）が最終的に持つ予定の子どもの数を聞いたところ（図表 3-12-1）、「2人」（59.1%）が過半数を占めて最も多く、次いで「3人」が15.7%、「1人」が14.4%となっており、子どもを持つ予定がある者の平均予定人数は2.0人となっている。

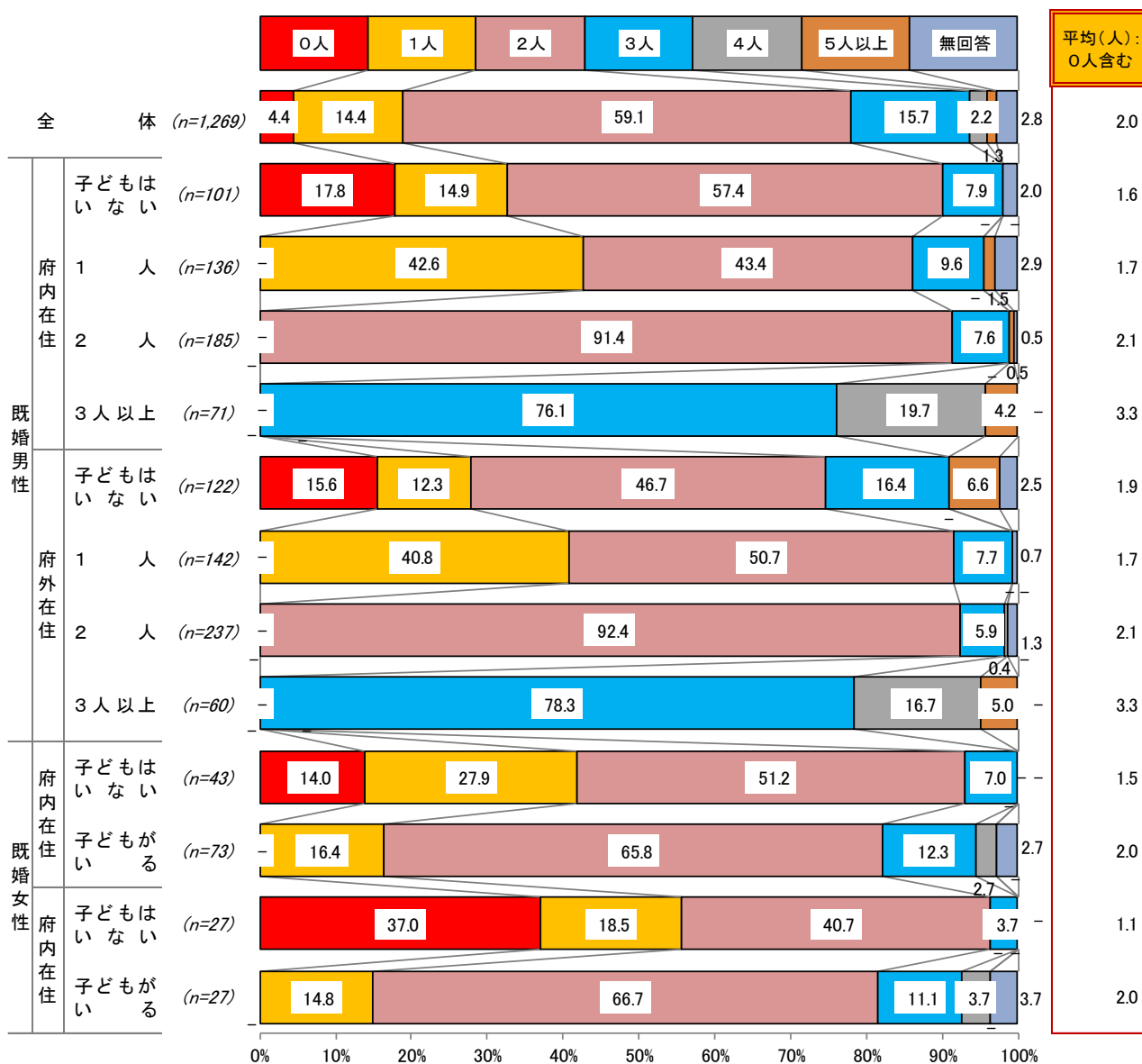
子どもを持つつもりがない者（「0人」）は、4.4%である。

性・居住地別にみると（図表 3-12-1）、男性は居住地による大きな差はみられず、平均はともに2.1人となっている。一方、女性は「0人」（府内5.8%、府外18.2%）が府内在住者よりも府外在住者に多く、平均で府内在住者は1.8人、府外在住者は1.6人となっている。

男女別にみると、男性よりも女性の方が予定する子どもの人数は少ない。

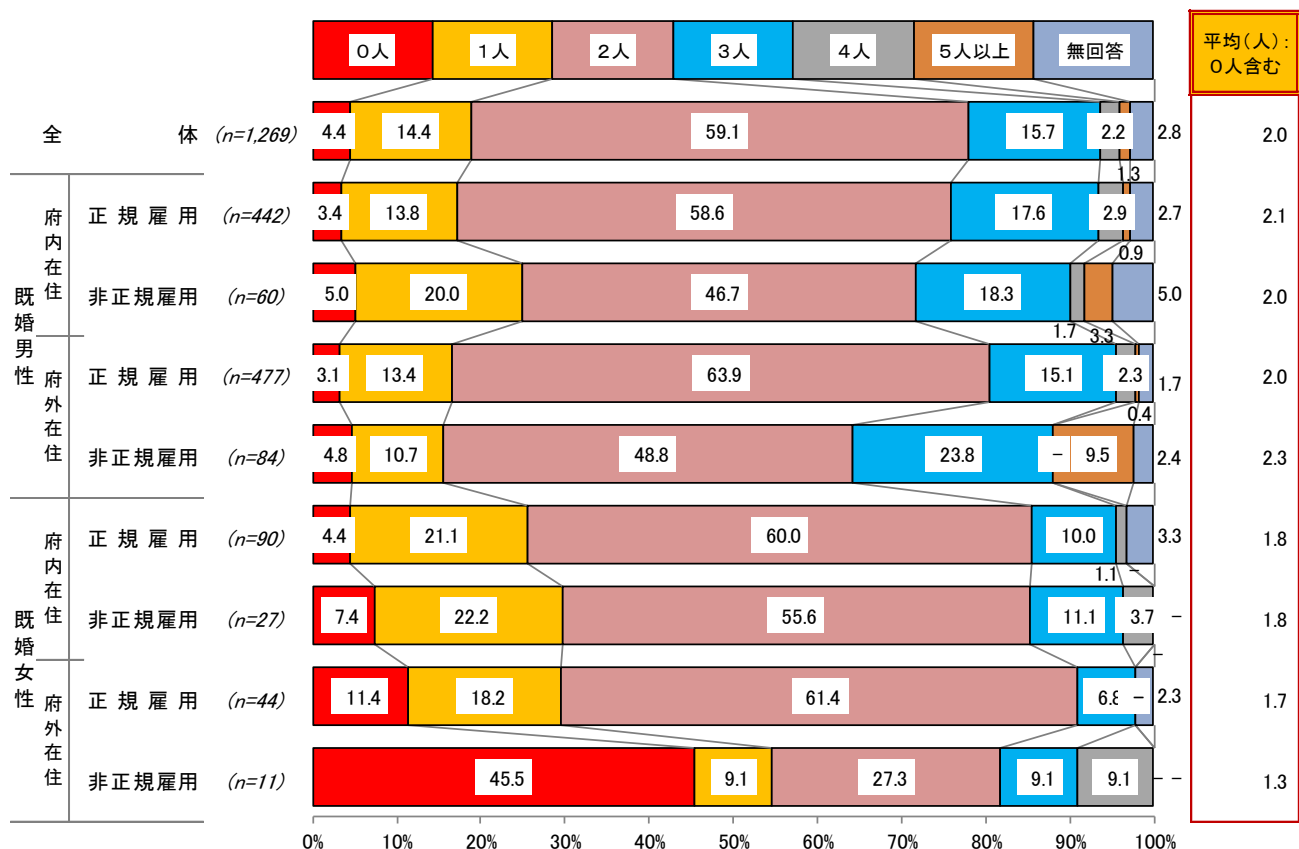
性・居住地・子どもの人数別にみると（図表 3-12-2）、男性は居住地による大きな差はみられず、実際の子どもの人数が多いほど予定人数も多くなっている。

図表 3-12-2 予定する子どもの人数（性・居住地・子どもの人数別）



性・居住地・就労状況別にみると（図表 3-12-3）、府内在住の男性は就労状況による大きな差はみられず、平均で正規雇用者 2.1 人、非正規雇用者 2.0 人となっている。一方、府外在住の男性は、正規雇用者で「2 人」が 63.9%、非正規雇用者で「3 人」が 23.8%と、それぞれ多くなっており、平均で正規雇用者が 2.0 人、非正規雇用者が 2.3 人となっている。

図表 3-12-3 予定する子どもの人数（性・居住地・就労状況別）



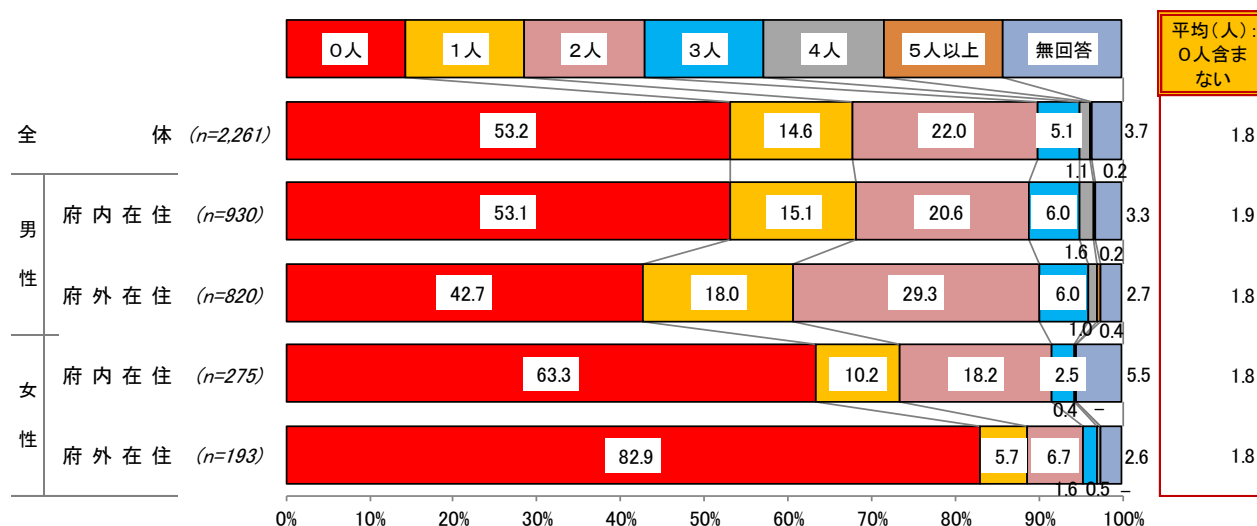
(13) 現在の子どもの状況

【全員の方にお聞きします。】

問 3 7 あなたにはお子さんがいますか。独立して別居しているお子さんも含めて、人数をお答えください。お子さんがいない場合は、「0」とご記入ください。

【お子さんがいる方に】お子さんは、それぞれ、現在何歳ですか。5人以上いる場合は、4人目の欄に一番下のお子さんの年齢をお答えください。

図表 3-13-1



本調査の回答者全員（2,261 人）の子どもについて、独立して別居している子どもを含めて聞いた（図表 3-13-1）。

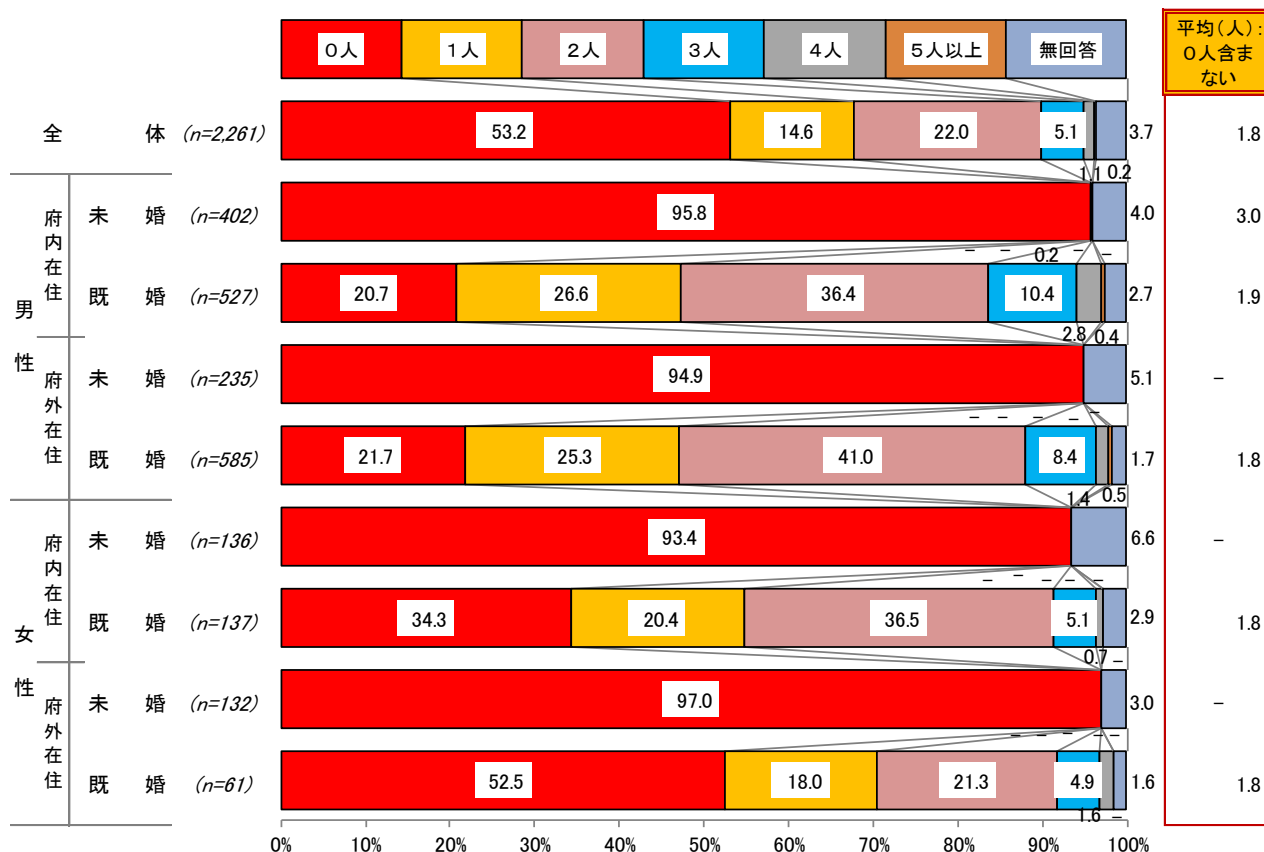
子どもの人数として「0」と回答した、子どもがいない者は 53.2%で、『子どもがいる』のは 43.1%。

子どもの人数としては、「2 人」が 22.0%、「1 人」が 14.6%で、子どもがいる人の平均人数は 1.8 人である。

性・居住地別にみると（図表 3-13-1）、子どもがいない（「0 人」）者は、男性では府外在住者（42.7%）よりも府内在住者（53.1%）に多いが、女性では府内在住者（63.3%）よりも未婚者が 7 割を占める府外在住者（82.9%）方が多い。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 3-13-2）、男女ともに未婚者は子どものいない者が 9 割を超えている。既婚者では、男性は府内在住者と府外在住者の違いによる大きな差はみられない。一方、女性の既婚者は、府内在住の子どもがいない者が 34.3%であるのに対し、府外在住者は 52.5%となっている。

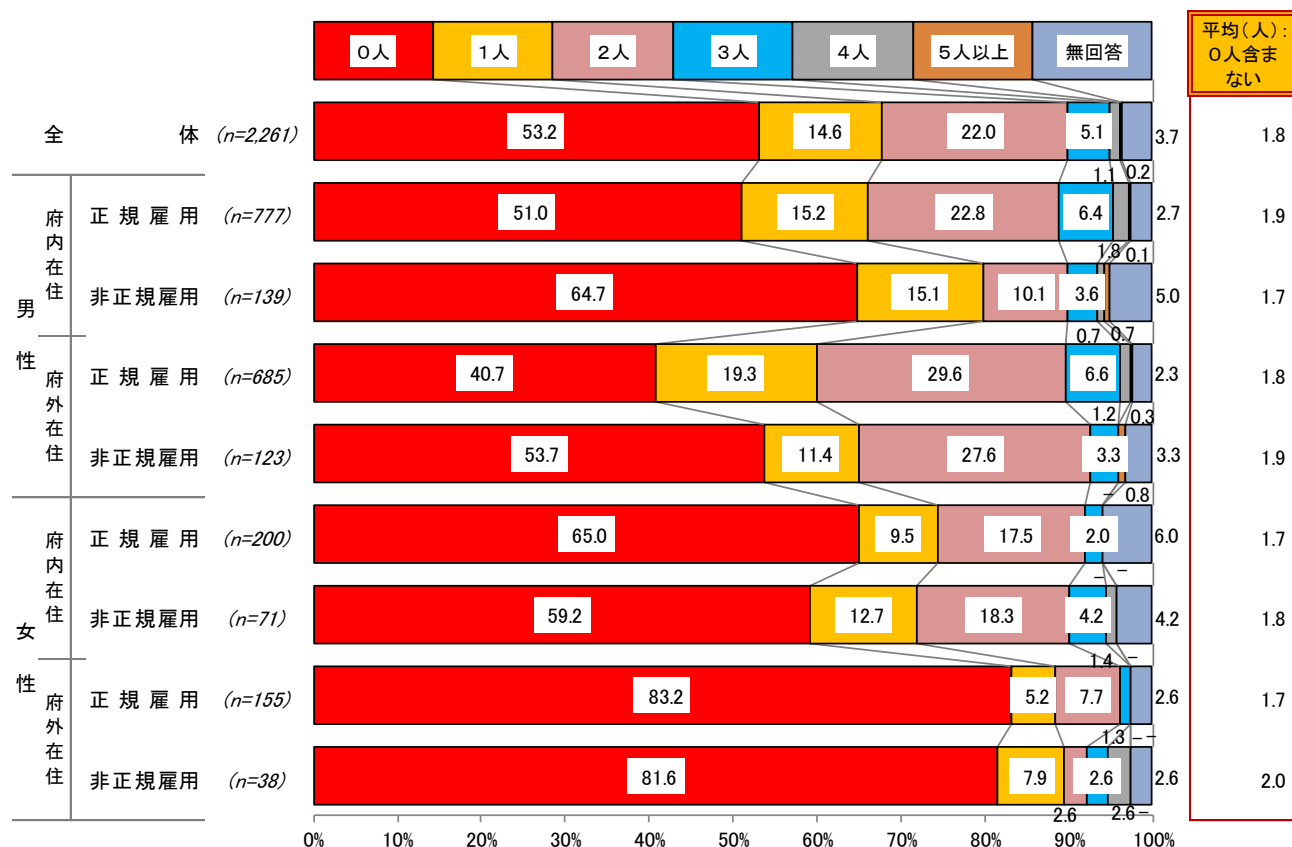
図表 3-13-2 現在の子どもの状況（性・居住地・婚姻状況別）



性・居住地・就労状況別にみると（図表 3-13-3）、男性で、こどもが「2人」いる者は、府外在住の正規雇用者が 29.6%、府外在住の非正規雇用者（27.6%）となっている。子どものいない（「0人」）という男性は、府内在住の非正規雇用者で 64.7%と最も多い。

一方、女性の府内在住者では、正規雇用者の 65.0%、非正規雇用者の 59.2%が、子どもはいない（「0人」）と回答している。未婚者が多数を占める府外在住者では、8割以上に子どもがいない。

図表 3-13-3 現在の子どもの状況（性・居住地・就労状況別）

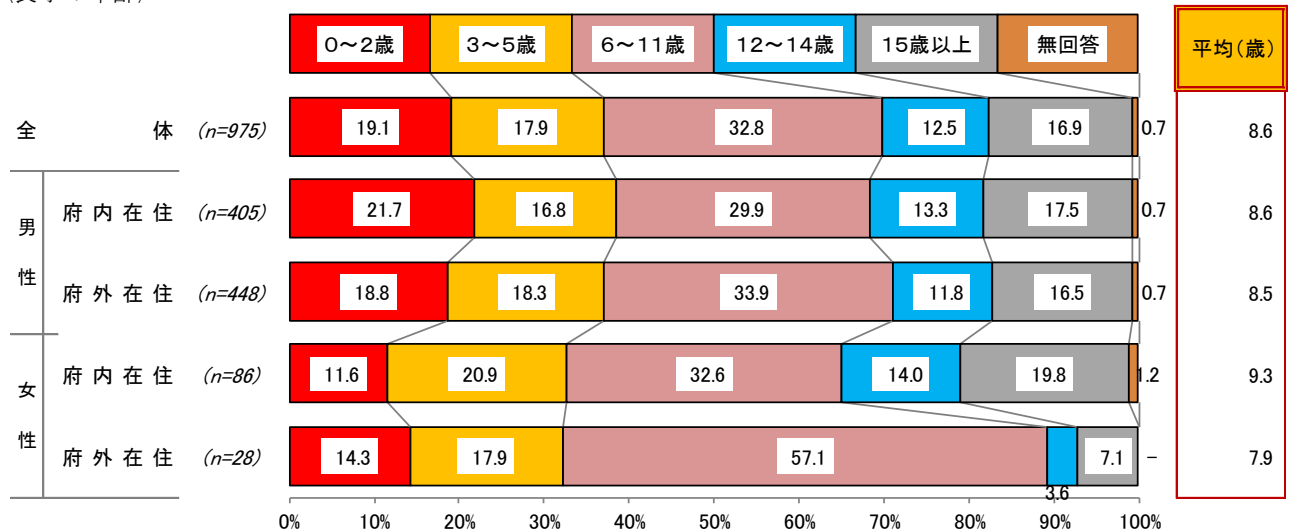


子どもがいる者（975人）の長子と末子の年齢をみると（図表 3-12-4）、長子年齢は「6～11歳」が32.8%で最も多く、次いで「0～2歳」（19.1%）、「3～5歳」（17.9%）、「15歳以上」（16.9%）などの順で、平均すると8.6歳である。性・居住地別にみると、男性は府内在住者（平均8.6歳）と府外在住者（平均8.5歳）に大きな差はみられない。女性は、府内在住者が平均で9.3歳、府外在住者が7.9歳となっている。

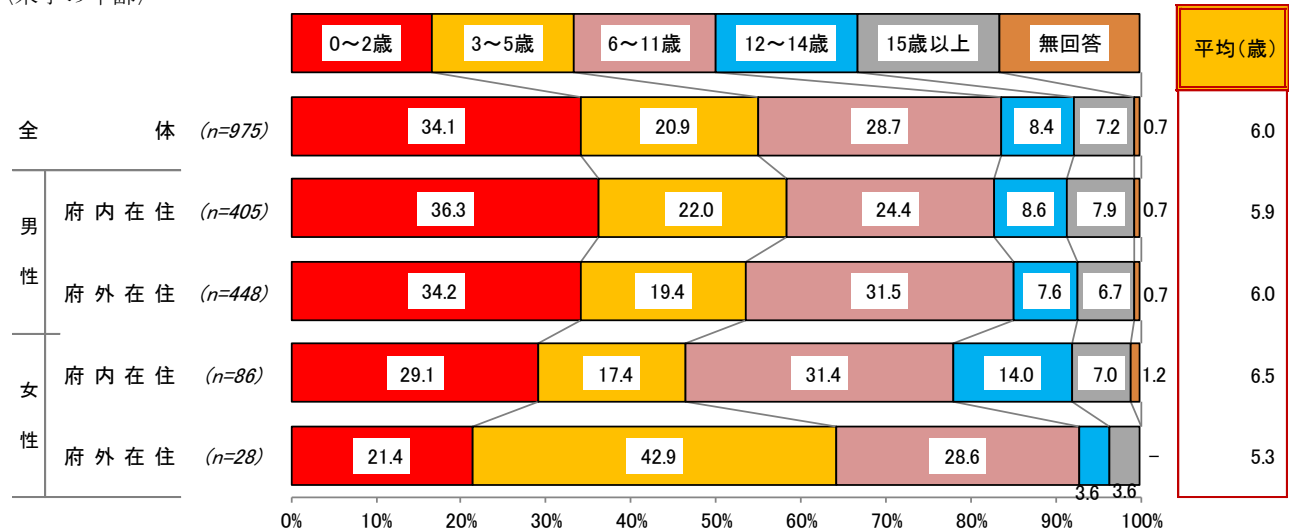
末子年齢は「0～2歳」（34.1%）が最も多く、「6～11歳」（28.7%）、「3～5歳」（20.9%）などの順で、平均で6.0歳である。性・居住地別にみると、男性は府内在住者（平均5.9歳）と府外在住者（平均6.0歳）に大きな差はみられない。女性は、府内在住者が平均で6.5歳、府外在住者が5.3歳となっている。

図表 3-12-4 長子・末子年齢

〈長子の年齢〉



〈末子の年齢〉



(14) 配偶者（パートナー）との育児分担

【お子さんのいる方にお聞きします。お子さんのいない方は、問40へお進みください。】

問38 日ごろ、配偶者（パートナー）との育児の分担はどのようにしていますか。全体を100%としてお答えください。

図表 3-14-1

																	(%)
			0%	1～9%	10%台	20%台	30%台	40%台	50%台	60%台	70%台	80%台	90%台	100%	無回答	平均 (%)	
全 体		(n=975)	3.0	7.6	20.5	20.0	17.5	8.0	10.4	1.4	1.8	2.7	2.9	2.5	1.7	30.1	
男 性	府 内 在 住	(n=405)	3.7	7.2	19.8	24.0	20.7	9.1	11.1	1.0	0.2	0.2	0.5	1.0	1.5	25.4	
	府 外 在 住	(n=448)	2.9	9.8	25.9	21.9	18.3	9.2	8.9	0.4	0.2	0.2	0.2	0.7	1.3	23.0	
女 性	府 内 在 住	(n=86)	—	—	1.2	—	2.3	—	14.0	8.1	11.6	20.9	19.8	17.4	4.7	77.1	
	府 外 在 住	(n=28)	—	—	—	—	3.6	—	10.7	3.6	21.4	21.4	28.6	7.1	3.6	76.9	

子どもがいる者（975人）に、日ごろの配偶者（パートナー）との育児分担について聞いたところ（図表 3-14-1）、「10%台」が20.5%、僅差で「20%台」が20.0%で、以下「30%台」（17.5%）、「50%台」（10.4%）などの順で、平均分担割合は約3割（30.1%）となっている。

性・居住地別にみると（図表 3-14-1）、男性は「10%台」が府内在住者（19.8%）よりも府外在住者（25.9%）に多く、平均すると府内在住者が25.4%、府外在住者が23.0%程度分担している。

一方、府内在住の女性は「80%台」（20.9%）と「90%台」（19.8%）が、それぞれ約2割となっており、平均で77.1%となり、男女差が大きい。

性・居住地・子どもの人数別にみると（図表 3-14-2）、府内在住の男性は子どもの人数が多い者ほど育児の分担の割合は高くなるが、府外在住の男性は子どもの人数が少ない者ほど育児の分担割合は高くなる。

図表 3-14-2 配偶者（パートナー）との育児分担（性・居住地・子どもの人数別）

			0%	1～9%	10%台	20%台	30%台	40%台	50%台	60%台	70%台	80%台	90%台	100%	無回答	平均 (%)
全 体 (n=975)			3.0	7.6	20.5	20.0	17.5	8.0	10.4	1.4	1.8	2.7	2.9	2.5	1.7	30.1
性	男	府内在住 1 人 (n=140)	0.7	7.1	22.9	25.0	22.9	9.3	10.7	—	—	—	—	0.7	0.7	24.6
		府内在住 2 人 (n=192)	4.7	7.8	18.2	23.4	20.3	10.9	9.9	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.6	25.3
		府内在住 3 人以上 (n=73)	6.8	5.5	17.8	23.3	17.8	4.1	15.1	4.1	—	—	1.4	1.4	2.7	27.3
	女	府外在住 1 人 (n=148)	0.7	8.8	24.3	26.4	16.9	9.5	8.8	0.7	0.7	—	0.7	0.7	2.0	24.1
		府外在住 2 人 (n=240)	4.2	10.8	25.4	19.6	19.6	9.2	9.2	—	—	0.4	—	0.8	0.8	22.7
		府外在住 3 人以上 (n=60)	3.3	8.3	31.7	20.0	16.7	8.3	8.3	1.7	—	—	—	—	1.7	21.9
性	男	府内在住 1 人 (n=28)	—	—	—	—	7.1	—	3.6	7.1	14.3	25.0	21.4	17.9	3.6	78.7
		府内在住 2 人 (n=50)	—	—	2.0	—	—	—	16.0	8.0	12.0	22.0	20.0	16.0	4.0	76.9
		府内在住 3 人以上 (n=8)	—	—	—	—	—	—	37.5	12.5	—	—	12.5	25.0	12.5	72.6
	女	府外在住 1 人 (n=11)	—	—	—	—	—	—	9.1	9.1	18.2	18.2	36.4	—	9.1	77.5
		府外在住 2 人 (n=13)	—	—	—	—	—	—	15.4	—	15.4	23.1	30.8	15.4	—	80.8
		府外在住 3 人以上 (n=4)	—	—	—	—	25.0	—	—	—	50.0	25.0	—	—	—	62.5

性・居住地・就労状況別にみると（図表 3-14-3）、男性では、府外在住者は、正規雇用者で「10%台」が 28.2%で最も多く、平均分担割合が 22.8%、非正規雇用者は「20%台」が 26.4%で最も多く、平均分担割合は 24.7%となっている。一方、府内在住の正規雇用者は「20%台」が 24.2%で、平均分担割合 25.3%で、府外在住の男性（平均 27.6%）よりやや分担割合が高い。

一方、女性では、府内在住の正規雇用者は「80%台」が 20.7%で最も多く、平均で 73.6%である。

図表 3-14-3 配偶者（パートナー）との育児分担（性・居住地・就労状況別）

			0%	1～9%	10%台	20%台	30%台	40%台	50%台	60%台	70%台	80%台	90%台	100%	無回答	平均 (%)
全 体 (n=975)			3.0	7.6	20.5	20.0	17.5	8.0	10.4	1.4	1.8	2.7	2.9	2.5	1.7	30.1
性	男	府内在住 正規雇用 (n=360)	3.9	6.9	20.3	24.2	20.3	8.6	11.4	1.1	0.3	0.3	0.6	0.8	1.4	25.3
		府内在住 非正規雇用 (n=42)	—	7.1	16.7	23.8	26.2	11.9	9.5	—	—	—	—	2.4	2.4	27.6
	女	府外在住 正規雇用 (n=390)	3.3	9.0	28.2	21.5	18.2	8.5	8.7	0.5	0.3	0.3	0.3	0.8	0.5	22.8
		府外在住 非正規雇用 (n=53)	—	15.1	9.4	26.4	17.0	15.1	9.4	—	—	—	—	—	7.5	24.7
性	男	府内在住 正規雇用 (n=58)	—	—	1.7	—	1.7	—	15.5	12.1	13.8	20.7	19.0	10.3	5.2	73.6
		府内在住 非正規雇用 (n=26)	—	—	—	—	3.8	—	11.5	—	7.7	23.1	15.4	34.6	3.8	83.3
	女	府外在住 正規雇用 (n=22)	—	—	—	—	—	—	13.6	4.5	18.2	22.7	31.8	9.1	—	78.6
		府外在住 非正規雇用 (n=6)	—	—	—	—	16.7	—	—	—	33.3	16.7	16.7	—	16.7	69.0

(15) 保育サービスの利用経験

【お子さんのいる方にお聞きします。】

問 3 9 あなたは、これまでに保育サービスを利用したことがありますか。利用したことのあるものをいくつでもお選びください。

図表 3-15-1

			認可 保育 所	学 童 保 育 (学 童 ク ラ ブ 、 放 課 後 児 童 ク ラ ブ 等)	一 時 預 か り	認 定 こ ど も 園	フ ァ ミ リ ー ・ サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー	証 保 育 所 な ど (認 証 保 育 所 自 治 体 独 自 の 保 育 所)	外 「事 業 所 内」 以 外 の 認 可 保 育 所	事 業 所 内 保 育 所 ・ 院 内 保 育 所	病 児 保 育	家 庭 的 保 育 (保 育 マ マ)	病 後 児 保 育	ベ ビ ー シ ッ タ ー	そ の 他	保 育 サ ー ビ ス を 利 用 し た こ と は な い	無 回 答
全 体 (n=975)			41.9	17.8	9.7	3.7	3.7	2.8	2.5	1.9	1.7	0.3	0.3	0.3	0.8	34.2	6.1
男 性	府 内 在 住 (n=405)		40.0	15.6	9.1	3.5	1.7	3.0	2.2	1.5	1.2	0.5	0.5	0.2	1.2	32.3	7.4
	府 外 在 住 (n=448)		34.2	15.2	9.4	4.0	4.5	2.7	1.6	2.5	1.6	0.2	-	0.2	0.7	42.9	5.8
女 性	府 内 在 住 (n=86)		74.4	32.6	14.0	1.2	8.1	3.5	8.1	1.2	5.8	-	1.2	1.2	-	8.1	1.2
	府 外 在 住 (n=28)		89.3	46.4	14.3	10.7	7.1	-	3.6	3.6	-	-	-	-	-	3.6	7.1

子どもがいる者（975名）がこれまでに利用したことのある保育サービスとしては（図表 3-15-1）、「認可保育所」が 41.9%で最も多くあげられ、次いで「学童保育（学童クラブ、放課後児童クラブ等）」が 17.8%となっている。

「保育サービスを利用したことはない」という者は 34.2%で、6 割以上が何らかの『保育サービスを利用したことがある』。

性・居住地別にみると（図表 3-15-1）、男性では「認可保育所」（府内 40.0%、府外 34.2%）、「学童保育（学童クラブ、放課後児童クラブ等）」（同 15.6%、15.2%）、「一時預かり」（同 9.1%、9.4%）が上位にあげられ、「認可保育所」は府内在住者に多くあげられている。「保育サービスを利用したことはない」という者は、府内在住者（32.3%）よりも府外在住者（42.9%）に多い。

一方、府内在住の女性は「認可保育所」が 74.4%、「学童保育（学童クラブ、放課後児童クラブ等）」が 32.6%となっている。

性・居住地・子どもの人数別にみると（図表 3-15-2）、府内在住の男性は、子どもの人数が多いほど「認可保育所」及び「学童保育（学童クラブ、放課後児童クラブ等）」が多くあげられている。一方、府外在住の男性は「保育サービスを利用したことはない」が、子どもの人数 1 人が 52.7%、3 人以上が 46.7%と他の層よりも高い。

図表 3-15-2 保育サービスの利用経験（性・居住地・子どもの人数別）

																		(%)	
			認可 保育 所	学童保育 （学童クラブ、 放課後児 童クラブ等）	一 時 預 か り	認 定 こ ど も 園	ファミリ－・ サポート・センタ－	自治体独自の保育所 （認証保育所など）	「事業所内」以外の認可 外保育所	事業所内保育所・院内保 育所	病 児 保 育	家庭的保育（保育ママ）	病 後 児 保 育	ベ ビ ー シ ッ タ ー	そ の 他	保育サービスを利用したことはない	無 回 答		
全 体			(n=975)	41.9	17.8	9.7	3.7	3.7	2.8	2.5	1.9	1.7	0.3	0.3	0.3	0.8	34.2	6.1	
男 性	府 内 在 住	1 人	(n=140)	35.0	9.3	7.9	2.1	2.1	3.6	1.4	2.1	2.9	－	1.4	0.7	0.7	37.1	7.1	
		2 人	(n=192)	41.1	18.2	12.0	3.1	1.6	2.6	3.6	1.6	0.5	1.0	－	－	1.6	31.3	7.3	
		3 人 以上	(n=73)	46.6	20.5	4.1	6.8	1.4	2.7	－	－	－	－	－	－	1.4	26.0	8.2	
	府 外 在 住	1 人	(n=148)	25.7	8.8	7.4	0.7	4.1	2.0	1.4	2.0	2.0	0.7	－	0.7	－	52.7	7.4	
		2 人	(n=240)	39.6	20.4	9.6	6.3	5.0	2.9	2.1	2.1	1.7	－	－	－	0.8	35.8	4.2	
		3 人 以上	(n=60)	33.3	10.0	13.3	3.3	3.3	3.3	－	5.0	－	－	－	－	1.7	46.7	8.3	
女 性	府 内 在 住	1 人	(n=28)	75.0	21.4	17.9	－	7.1	－	10.7	－	7.1	－	－	3.6	－	7.1	－	
		2 人	(n=50)	74.0	36.0	10.0	2.0	8.0	6.0	6.0	－	6.0	－	2.0	－	－	8.0	2.0	
		3 人 以上	(n=8)	75.0	50.0	25.0	－	12.5	－	12.5	12.5	－	－	－	－	－	12.5	－	
	府 外 在 住	1 人	(n=11)	90.9	9.1	9.1	9.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	9.1	
		2 人	(n=13)	84.6	69.2	15.4	15.4	7.7	－	－	－	－	－	－	－	－	7.7	7.7	
		3 人 以上	(n=4)	100.0	75.0	25.0	－	25.0	－	25.0	25.0	－	－	－	－	－	－	－	

性・居住地・就労状況別にみると（図表 3-15-3）、男性は、個別のサービスでは居住地による大きな差はみられないが、府外在住の正規雇用者では「保育サービスを利用したことはない」が 43.3%と、府内在住の正規雇用者（32.8%）よりも多くあげられている。

図表 3-15-3 保育サービスの利用経験（性・居住地・就労状況別）

																	(%)
			認可 保育 所	学 童 保 育 （ 学 童 ク ラ ブ 等 ）	一 時 預 か り	認 定 こ ど も 園	フ ァ ミ リ ー ・ セ ン タ ー	自 治 体 独 自 の 保 育 所 （ 認 証 保 育 所 な ど ）	「 事 業 所 内 」 以 外 の 認 可 保 育 所	事 業 所 内 保 育 所 ・ 院 内 保 育	病 児 保 育	家 庭 的 保 育 （ 保 育 マ マ ）	病 後 児 保 育	ベ ビ ー シ ッ タ ー	そ の 他	保 育 サ ー ビ ス を 利 用 し た こ と は な い	無 回 答
全 体 (n=975)			41.9	17.8	9.7	3.7	3.7	2.8	2.5	1.9	1.7	0.3	0.3	0.3	0.8	34.2	6.1
男 性	府 内 在 住	正 規 雇 用 (n=360)	38.3	15.8	9.7	3.3	1.7	3.1	2.5	1.4	1.4	0.3	0.6	0.3	1.1	32.8	8.1
		非正規雇用 (n=42)	57.1	14.3	4.8	4.8	2.4	2.4	－	2.4	－	2.4	－	－	－	－	26.2
	府 外 在 住	正 規 雇 用 (n=390)	33.3	16.2	10.5	4.1	4.1	2.8	1.8	2.8	1.3	0.3	－	0.3	0.5	43.3	5.1
		非正規雇用 (n=53)	41.5	9.4	1.9	3.8	5.7	1.9	－	－	3.8	－	－	－	1.9	37.7	11.3
女 性	府 内 在 住	正 規 雇 用 (n=58)	82.8	31.0	5.2	1.7	6.9	3.4	8.6	－	5.2	－	1.7	－	－	5.2	1.7
		非正規雇用 (n=26)	57.7	34.6	30.8	－	11.5	3.8	3.8	3.8	7.7	－	－	3.8	－	15.4	－
	府 外 在 住	正 規 雇 用 (n=22)	95.5	54.5	9.1	13.6	9.1	－	4.5	－	－	－	－	－	－	－	4.5
		非正規雇用 (n=6)	66.7	16.7	33.3	－	－	－	－	16.7	－	－	－	－	－	16.7	16.7

(16) 充実を希望する子育て支援サービス

【全員の方にお聞きします。】

問40 妊娠中や小学生以下の子どもを持つ親を対象とした子育て支援サービスとして、どのようなことを充実させたらよいと思いますか。あてはまるものを5つまでお選びください。

図表 3-16-1

		子どもの遊ばせる場や機	一時預かりの実施	育児の不安や悩みの相談窓口	子育て支援に関する情報提供	病児保育・病後児保育サービスの実施	初めの出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験	親のリフレッシュの場や機	子どもの健康や栄養、生活リズムなどに関する子育て勉強会	地域のサークル活動や支援ネットワークづくり	子どもの学習や幼児教育のプログラム提供	父親を対象とした育児講習・育児相談	その他	特にな	無回答
全	体 (n=2,261)	51.7	44.5	35.1	33.2	29.1	28.4	26.4	21.0	20.1	19.6	15.0	2.1	8.6	2.2
男	府内在住 (n=930)	51.8	37.2	33.5	32.3	23.8	27.0	27.4	19.4	17.7	19.8	14.1	1.6	11.0	1.7
	府外在住 (n=820)	50.4	42.3	35.0	33.0	23.8	27.2	25.1	23.2	21.8	19.8	15.4	2.2	9.3	2.2
女	府内在住 (n=275)	55.6	63.3	40.0	36.7	49.5	31.6	28.0	16.7	21.5	17.1	13.8	3.3	1.8	2.2
	府外在住 (n=193)	53.4	65.8	35.2	35.8	50.8	38.3	29.5	25.9	22.8	21.2	19.7	3.1	3.6	-

子どもの有無にかかわらず、充実を希望する、妊娠中や小学生以下の子どもを持つ親を対象とした子育て支援サービスとしては（図表 3-16-1）、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が 51.7%で最も多くあげられた。以下、「一時預かりの実施」（44.5%）、「育児の不安や悩みの相談窓口」（35.1%）、「子育て支援に関する情報提供」（33.2%）、「病児保育・病後児保育サービスの実施」（29.1%）、「初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験」（28.4%）、「親のリフレッシュの場や機会の提供」（26.4%）などの順にあげられている。

「特にな」という者は 8.6%にとどまり、約 9 割が、なんらかの子育て支援サービスの充実を希望している。

性・居住地別にみると（図表 3-16-1）、男性では「一時預かりの実施」（府内 37.2%、府外 42.3%）は、府内在住者よりも府外在住者に多くあげられている。一方、女性では、「初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験」（同 31.6%、38.3%）と「子どもの健康や栄養、生活リズムなどに関する子育て勉強会」（同 16.7%、25.9%）が、府内在住者より府外在住者に多くあげられている。

男女で比較すると「一時預かりの実施」と「病児保育・病後児保育サービスの実施」が、男性より女性に多くあげられている。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 3-16-2）、府内在住の男性では「一時預かりの実施」（未婚 41.0%、既婚 34.2%）、「初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験」（同 33.1%、22.2%）、「病児保育・病後児保育サービスの実施」（同 27.9%、20.7%）は、既婚者より未婚者に多くあげられ、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」（同 48.5%、54.5%）、「親のリフレッシュの場や機会の提供」（同 23.6%、30.4%）と「子どもの学習や幼児教育のプログラム提供」（同 15.7%、23.0%）は未婚者より既婚者に多くあげられている。

府外在住の男性でも、「一時預かりの実施」（同 50.6%、既婚 39.0%）、「病児保育・病後児保育サービスの実施」（同 28.5%、21.9%）、「初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験」（同 33.6%、24.6%）が既婚者より未婚者に多くあげられているが、「育児の不安や悩みの相談窓口」（同 40.4%、32.8%）も未婚者にやや多くなっている。一方、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」（同 42.1%、53.7%）、「親のリフレッシュの場や機会の提供」（同 20.2%、27.2%）と「子どもの学習や幼児教育のプログラム提供」（同 14.9%、21.7%）は、未婚者より既婚者に多くあげられている。

府内在住の女性では、「一時預かりの実施」（同 67.6%、59.9%）、「育児の不安や悩みの相談窓口」（同 50.7%、29.9%）、「子育て支援に関する情報提供」（同 41.2%、32.8%）、「初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験」（同 39.0%、24.8%）、「父親を対象とした育児講習・育児相談」（同 17.6%、10.2%）は既婚者よりも未婚者に多くあげられている。

府外在住の女性では、府内在住の女性と同様に「一時預かりの実施」（同 68.9%、59.0%）、「育児の不安や悩みの相談窓口」（同 39.4%、26.2%）、「初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験」（同 43.2%、27.9%）、「父親を対象とした育児講習・育児相談」（同 22.7%、13.1%）が既婚者よりも未婚者に多くあげられている。一方、居住地にかかわらず、「子どもの学習や幼児教育のプログラム提供」は未婚者（府内 13.2%、府外 14.4%）より既婚者（同 21.2%、36.1%）に多くあげられている。

図表 3-16-2 充実を希望する子育て支援サービス（性・居住地・婚姻状況別）

			子育て支援に関する情報														その他			特にない		無回答	(%)
			子どもの遊ばせる場や機	一時預かりの実施	育児の不安や悩みの相談窓口	子育て支援に関する情報提供	病児保育・病後児保育サービスの実施	初めての出産を控えるに性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験	親のリフレッシュの場や機会の提供	子どもの健康や栄養、生活リズムなどに関する子育て勉強会	地域のサークル活動やネットワーキングづくりの支援	子どもの学習や幼児教育のプログラム提供	父親を対象とした育児講習・育児相談	その	特	無	(%)						
全 体 (n=2,261)			51.7	44.5	35.1	33.2	29.1	28.4	26.4	21.0	20.1	19.6	15.0	2.1	8.6	2.2							
男 性	府内在住	未婚 (n=402)	48.5	41.0	35.1	30.8	27.9	33.1	23.6	17.9	15.2	15.7	17.4	0.7	13.7	1.5							
		既 婚 (n=527)	54.5	34.2	32.3	33.2	20.7	22.2	30.4	20.5	19.5	23.0	11.6	2.3	8.9	1.9							
	府外在住	未婚 (n=235)	42.1	50.6	40.4	29.8	28.5	33.6	20.0	23.8	17.4	14.9	16.6	0.4	15.3	1.3							
		既 婚 (n=585)	53.7	39.0	32.8	34.4	21.9	24.6	27.2	22.9	23.6	21.7	14.9	2.9	6.8	2.6							
女 性	府内在住	未婚 (n=136)	55.9	67.6	50.7	41.2	50.7	39.0	25.0	19.9	22.8	13.2	17.6	0.7	0.7	0.7							
		既 婚 (n=137)	56.2	59.9	29.9	32.8	48.9	24.8	31.4	13.9	20.4	21.2	10.2	5.8	2.2	2.9							
	府外在住	未婚 (n=132)	55.3	68.9	39.4	37.1	50.8	43.2	29.5	25.8	23.5	14.4	22.7	1.5	2.3	-							
		既 婚 (n=61)	49.2	59.0	26.2	32.8	50.8	27.9	29.5	26.2	21.3	36.1	13.1	6.6	6.6	-							

性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 3-16-3）、男性では、居住地にかかわらず子どもがいる者に「子どもを遊ばせる場や機会の提供」（府内 58.8%、府外 56.7%）が 6 割近くあげられている。また、「育児の不安や悩みの相談窓口」「初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験」「病児保育・病後児保育サービスの実施」は子どもがいる者より子どもがいない者に多くあげられている。また、府内在住の子どものいる者は、「親のリフレッシュの場や機会の提供」（33.6%）への希望が強い。

府外在住の男性は、子どもがいる層で「子どもを遊ばせる場や機会の提供」（子ども 1 人 60.1%、子ども 2 人 53.8%、3 人以上 60.0%）が、子どもがいない層で「初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験」（未婚 34.1%、既婚 41.7%）及び「一時預かりの実施」（同 52.0%、53.5%）が、他の層より多くあげられている。

一方、未婚の女性では、「一時預かりの実施」（府内 68.5%、府外 69.5%）、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」（同 57.5%、55.5%）、「病児保育・病後児保育サービスの実施」（同 52.8%、50.8%）が上位にあがる。府内在住の未婚女性では「育児の不安や悩みの相談窓口」も 50.4%と、府外在住者（39.8%）より多くあげられている。府内在住の子どものいる女性では、「親のリフレッシュの場や機会の提供」（37.2%）への希望が強くなっている。

図表 3-16-3 充実を希望する子育て支援サービス（性・居住地・子どもの有無別）

				子どもの提供	一時預かりの実施	育児の不安や悩みの相談窓口	子育て支援に関する情報提供	病児保育・病後児保育サービスの実施	性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験	初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験	親のリフレッシュの場や機会の提供	育児の勉強会などに関する子育て支援	地域のサークル活動やネットワーキング活動の提供	子どもの学習や幼児教育のプログラム提供	父親を対象とした育児相談講習	その他	特にない	無回答	(%)
全 体 (n=2,261)				51.7	44.5	35.1	33.2	29.1	28.4	26.4	21.0	20.1	19.6	15.0	2.1	8.6	2.2		
男性	府内在住	子どもがいない	未婚 (n=385)	49.6	41.6	36.4	31.2	27.8	33.5	23.9	18.2	15.8	15.8	17.9	0.8	13.2	0.8		
			既婚 (n=109)	43.1	36.7	37.6	38.5	24.8	39.4	22.0	24.8	25.7	19.3	17.4	0.9	11.9	-		
		子どもがいる (n=405)	58.8	34.6	31.4	31.9	20.2	18.3	33.6	20.0	18.3	24.2	10.4	2.7	7.9	0.5			
	府外在住	子どもがいない	未婚 (n=223)	43.0	52.0	41.7	30.5	29.6	34.1	20.2	24.2	17.0	15.7	17.5	0.4	15.2	-		
			既婚 (n=127)	45.7	53.5	40.2	40.9	32.3	41.7	27.6	27.6	23.6	15.7	28.3	2.4	1.6	1.6		
		子どもがいる (n=448)	56.7	35.3	31.3	33.3	19.4	20.3	27.7	22.1	23.9	23.7	11.4	2.9	8.5	1.1			
女性	府内在住	子どもがいない	未婚 (n=127)	57.5	68.5	50.4	42.5	52.8	40.9	26.0	20.5	23.6	12.6	18.1	0.8	0.8	-		
			既婚 (n=47)	55.3	70.2	48.9	27.7	51.1	44.7	21.3	19.1	27.7	19.1	12.8	6.4	4.3	-		
		子どもがいる (n=86)	57.0	57.0	19.8	36.0	50.0	15.1	37.2	10.5	15.1	23.3	9.3	5.8	1.2	3.5			
	府外在住	子どもがいない	未婚 (n=128)	55.5	69.5	39.8	38.3	50.8	43.8	29.7	25.8	23.4	14.1	23.4	1.6	1.6	-		
			既婚 (n=32)	40.6	71.9	34.4	34.4	59.4	37.5	25.0	28.1	21.9	25.0	18.8	6.3	6.3	-		
		子どもがいる (n=28)	57.1	42.9	17.9	28.6	42.9	14.3	35.7	25.0	17.9	50.0	7.1	7.1	7.1	-			

性・居住地・就労状況別にみると（図表 3-16-4）、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」は男性の正規雇用者（府内 53.9%、府外 51.4%）で、「一時預かりの実施」は女性の正規雇用者（同 64.5%、68.4%）で、「子育て支援に関する情報提供」は女性の府内在住の非正規雇用者（43.7%）で、それぞれ多くあげられている。

図表 3-16-4 充実を希望する子育て支援サービス（性・居住地・就労状況別）

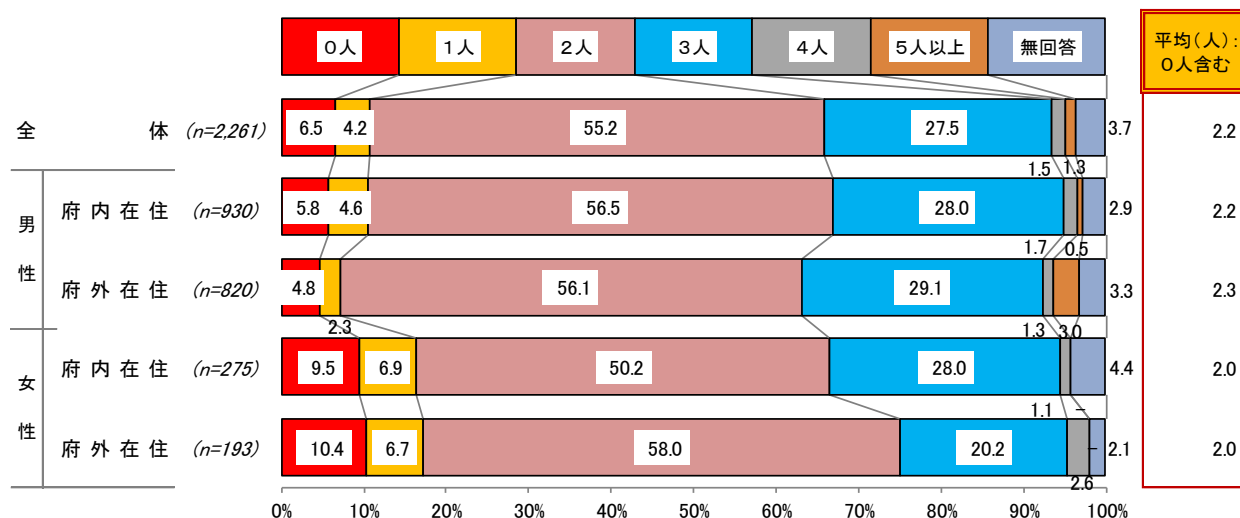
			(%)													
			子どもの遊ばせる場や機 会の提供	一時預かりの実施	育児の不安や悩みの相談 窓口	子育て支援に関する情報 提供	病児保育・病後児保育 サービスの実施	性や男性、夫婦を対象に した講座や育児体験	初めての出産を控える女 性のリフレッシュの場や 機会の提供	子どもの健康や栄養、生 活リズムなどに関する子 育て勉強会	地域のサークル活動や ネットワークづくりの 支援	子どもの学習や幼児教育 のプログラム提供	父親を対象とした育児講 習・育児相談	その他	特 に な い	無 回 答
全 体 (n=2,261)			51.7	44.5	35.1	33.2	29.1	28.4	26.4	21.0	20.1	19.6	15.0	2.1	8.6	2.2
男 性	府内 在住	正 規 雇 用 (n=777)	53.9	38.2	34.1	32.9	23.3	27.4	28.4	19.8	16.6	19.9	15.2	1.8	9.9	1.4
	府内 在住	非正規雇用 (n=139)	41.7	32.4	31.7	28.1	26.6	27.3	22.3	18.0	23.0	20.1	9.4	0.7	15.8	2.2
	府外 在住	正 規 雇 用 (n=685)	51.4	42.9	33.7	33.0	24.5	26.6	24.5	23.1	22.0	19.6	14.2	2.2	9.1	1.3
	府外 在住	非正規雇用 (n=123)	44.7	39.0	41.5	32.5	20.3	30.1	27.6	23.6	21.1	20.3	22.0	2.4	11.4	5.7
女 性	府内 在住	正 規 雇 用 (n=200)	56.0	64.5	40.5	34.5	49.5	30.0	29.5	17.0	23.5	18.0	15.5	3.5	1.0	2.5
	府内 在住	非正規雇用 (n=71)	54.9	57.7	38.0	43.7	47.9	38.0	25.4	16.9	15.5	14.1	9.9	1.4	4.2	1.4
	府外 在住	正 規 雇 用 (n=155)	54.2	68.4	36.1	33.5	49.7	40.6	28.4	27.7	26.5	23.2	20.6	1.3	3.9	-
	府外 在住	非正規雇用 (n=38)	50.0	55.3	31.6	44.7	55.3	28.9	34.2	18.4	7.9	13.2	15.8	10.5	2.6	-

(17) 理想の子ども的人数

問 4 1 あなたにとって、理想的な子ども数は、何人ですか。

子どもを持つつもりのない方は、「0」とご記入ください。

図表 3-17-1



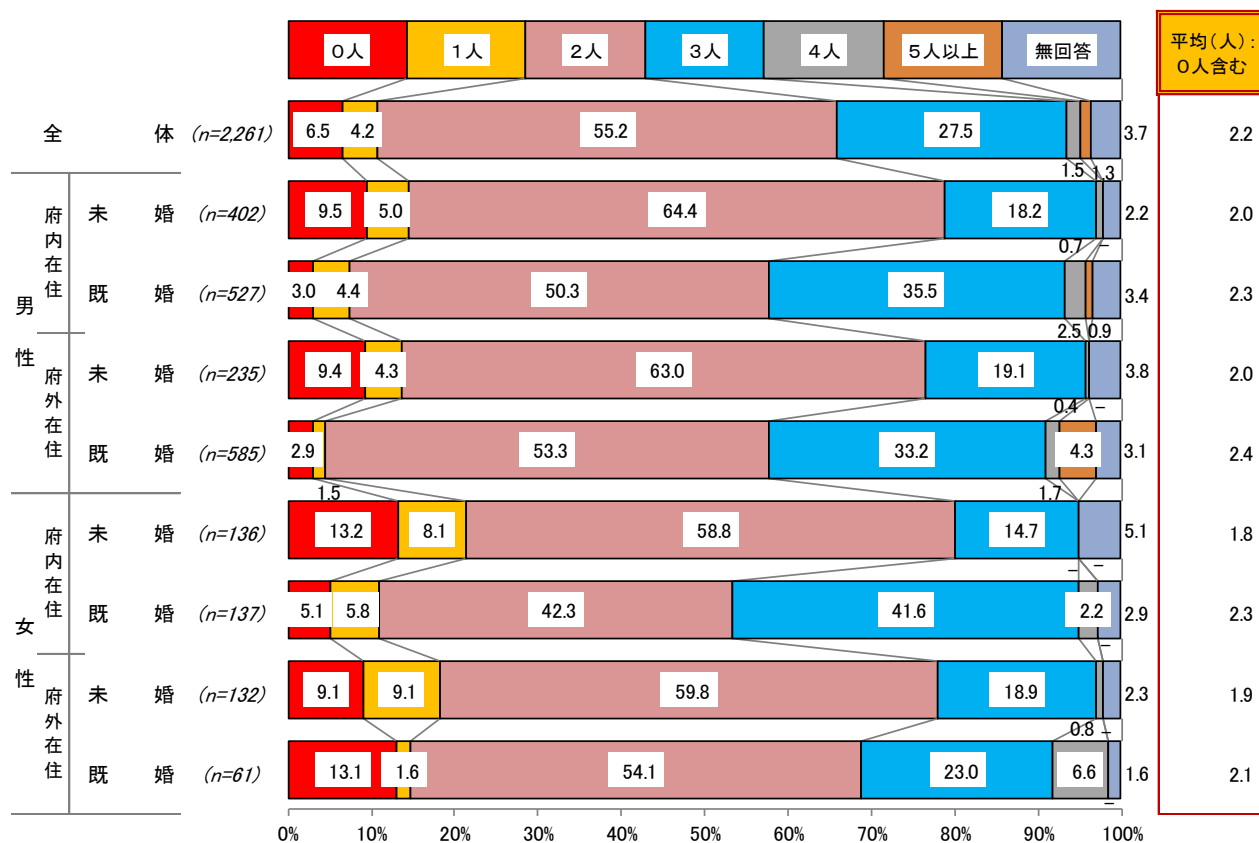
理想の子ども的人数を聞いたところ（図表 3-17-1）、「2 人」が 55.2%で最も多く、次いで「3 人」（27.5%）となっている。一方、子どもを持つつもりのない人（「0 人」）は 6.5%で、理想の子ども人数は、平均 2.2 人である。

性・居住地別にみると（図表 3-17-1）、男性は居住地による差はみられないが、女性は「3 人」という者が府内在住者の 28.0%で、府外在住者（20.2%）を 8 ポイント上回っている。

理想の平均子ども人数は、女性（府内、府外ともに 2.0 人）より男性（府内 2.2 人、府外 2.3 人）の方が多くなっている。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 3-17-2）、男女それぞれ、居住地にかかわらず、未婚者よりも既婚者の方が理想の子どもの人数は多い。

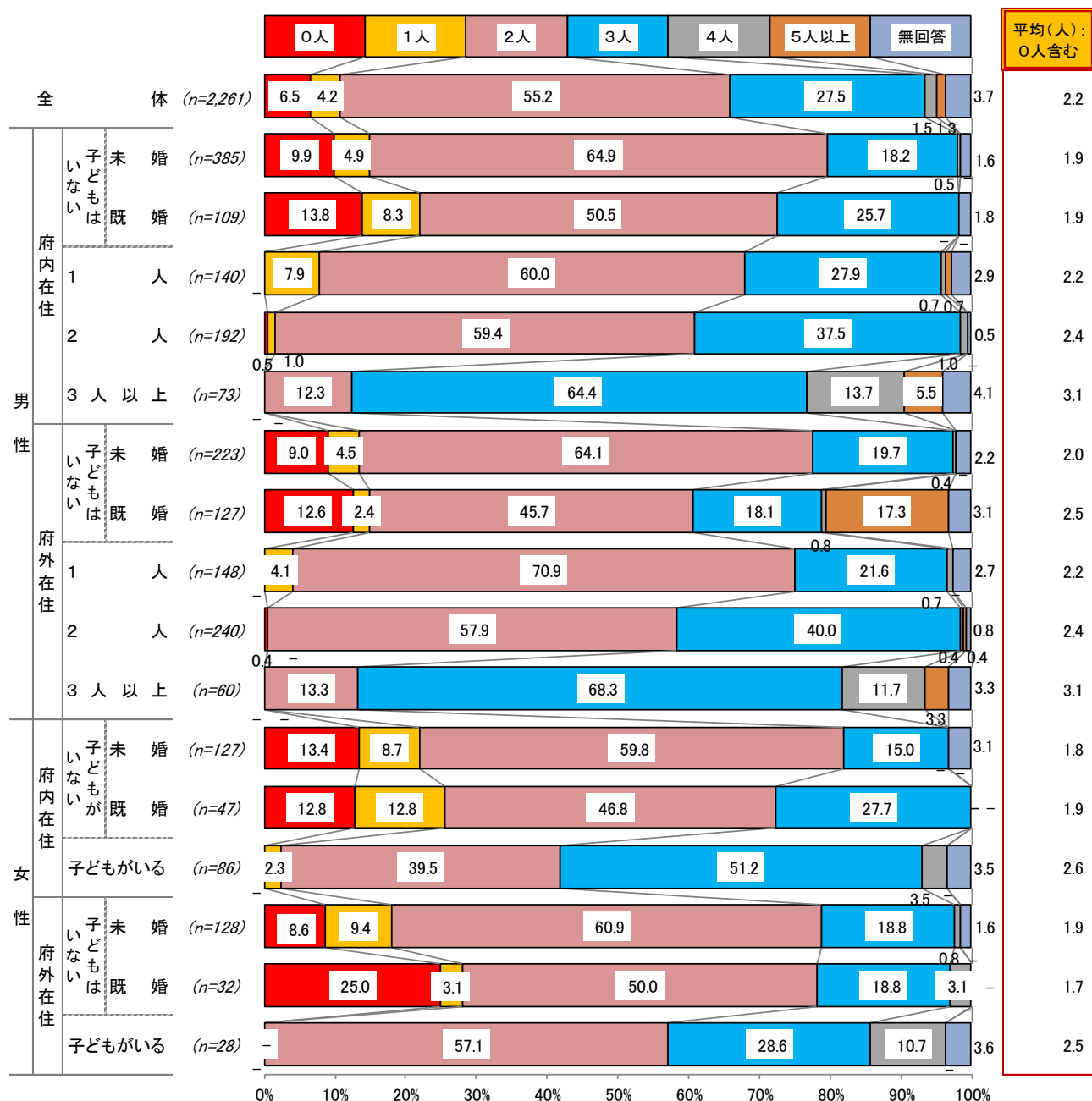
図表 3-17-2 理想の子どもの人数（性・居住地・婚姻状況別）



性・居住地・子どもの人数別にみると（図表 3-17-3）、男性では、子どもがいない未婚者と既婚者で、府内在住者では平均値（ともに 1.9 人）に差はないが、府外在住者では子どもがいない未婚者（2.0 人）よりも、既婚者（2.5 人）の方が多く、「5 人以上」が 17.3% となっている。実際の子どもの人数別にみると、子どもの人数が多い人ほど理想の子どもの人数は多い。

女性では、子どもがいない未婚者を府内在住者（平均 1.8 人）と府外在住者（平均 1.9 人）で比較しても、大きな差はみられない。

図表 3-17-3 理想の子どもの人数（性・居住地・子どもの人数別）



性・居住地・就労状況別にみると（図表 3-17-4）、府内在住者では、男女ともに正規雇用者（男性平均 2.2 人、女性 2.1 人）の方が、非正規雇用者（男性平均 2.0 人、女性 2.0 人）よりも多いが、府外在住の男性は正規雇用者（平均 2.2 人）よりも非正規雇用者（平均 2.6 人）の方が多い。

図表 3-17-4 理想の子どもの人数（性・居住地・就労状況別）

